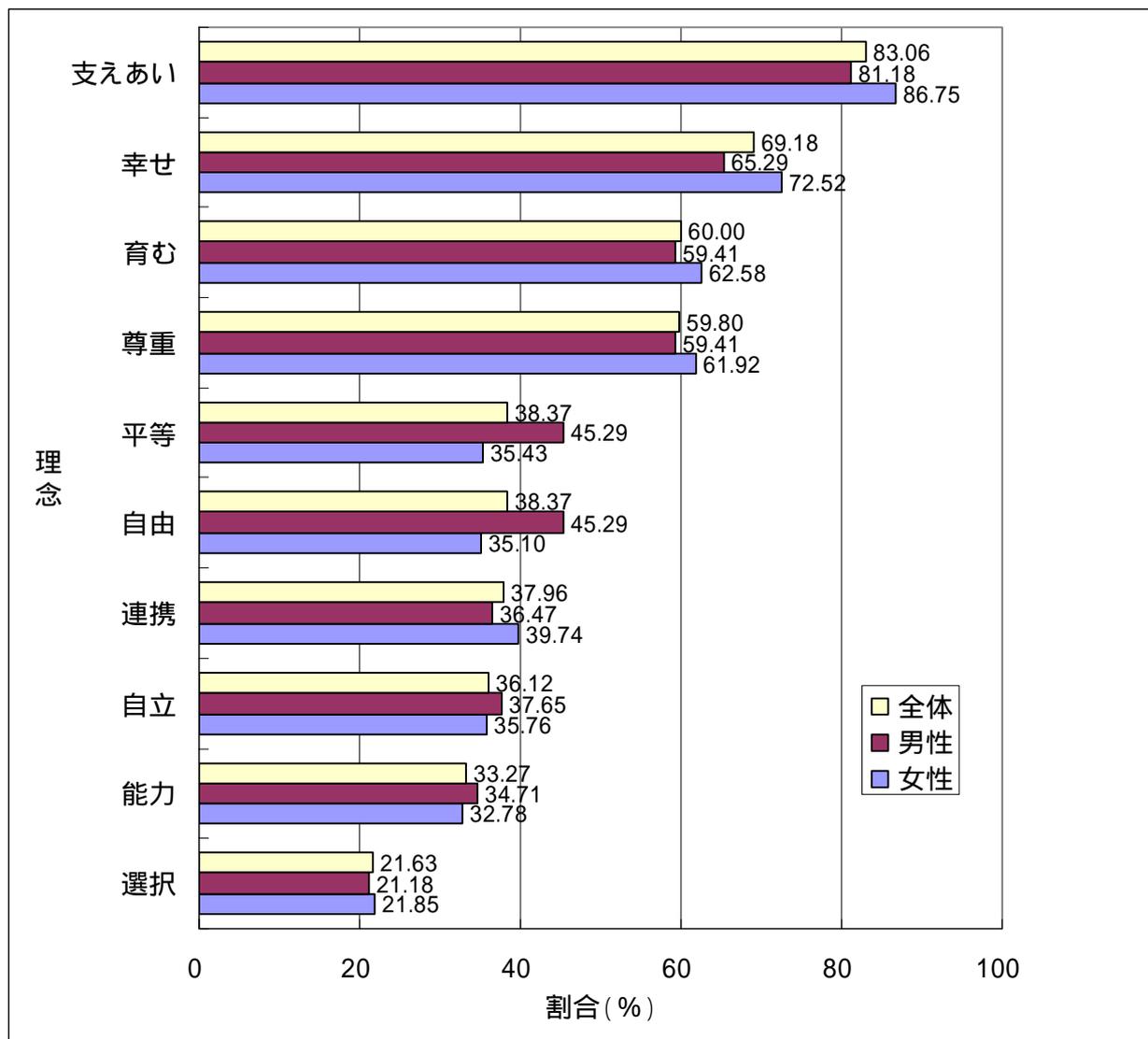


參考資料

クロス集計

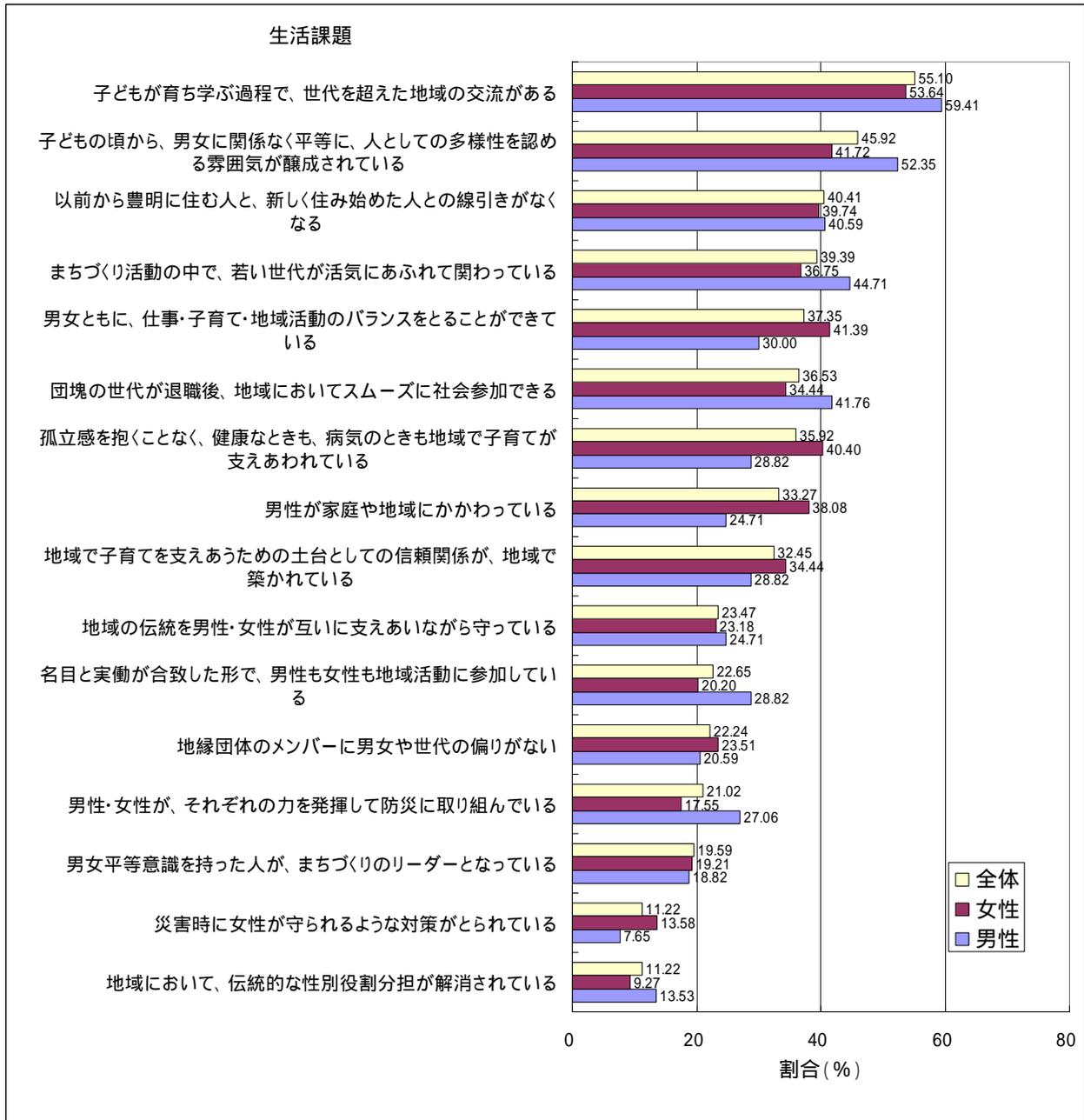
1. 『性別』ごとのクロス集計結果

(1) 「めざす姿・方向性(キーワード)」の優先度 (性別×めざす姿)



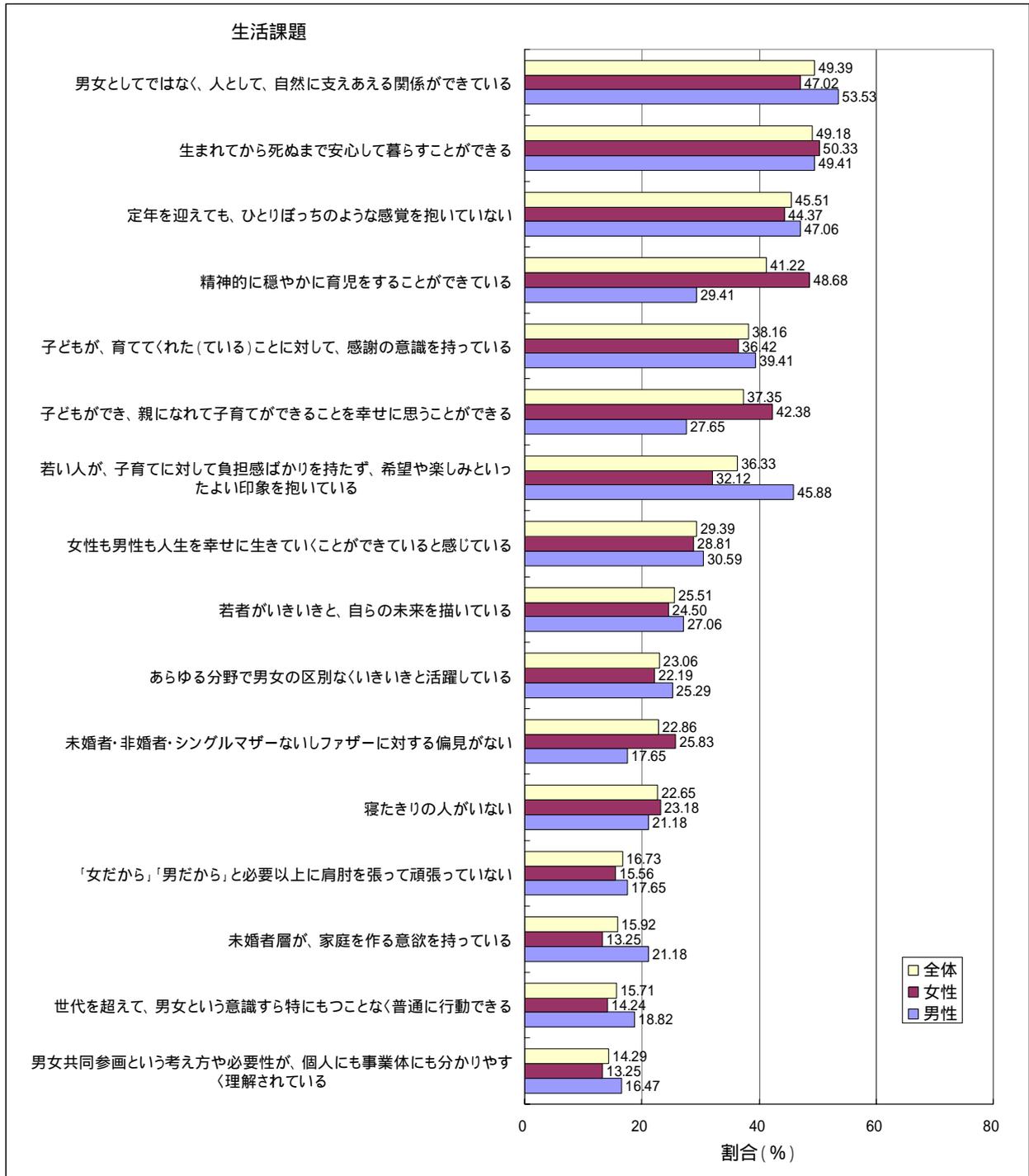
	全体	男性	女性
1位	支えあい	支えあい	支えあい
2位	幸せ	幸せ	幸せ
3位	育む	尊重	育む
4位	尊重	育む	尊重
		平等	
5位	自由	連携	連携

(2)「めざす姿・方向性」を実現するうえでの「課題」の重要度
 支えあい×性別



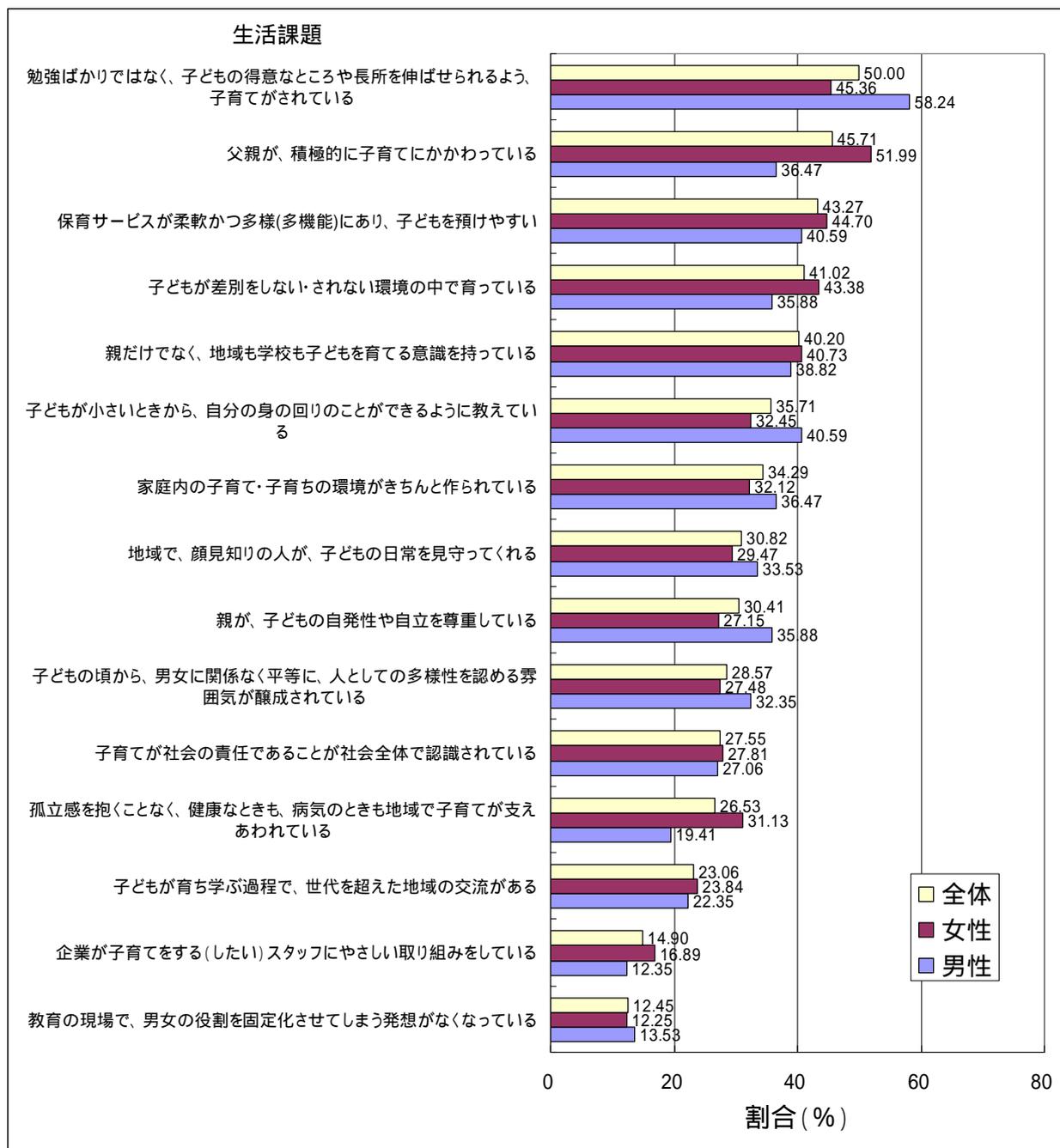
	男性	女性
1位	子どもが育ち学ぶ過程で、世代を超えた地域の交流がある	子どもが育ち学ぶ過程で、世代を超えた地域の交流がある
2位	子どもの頃から、男女に関係なく平等に、人としての多様性を認める雰囲気が醸成されている	子どもの頃から、男女に関係なく平等に、人としての多様性を認める雰囲気が醸成されている
3位	まちづくり活動の中で、若い世代が活気にあふれて関わっている	男女ともに、仕事・子育て・地域活動のバランスをとることができている
4位	団塊の世代が退職後、地域においてスムーズに社会参加できる	孤立感を抱くことなく、健康なときも、病気のときも地域で子育てが支えあわれている
5位	以前から豊明に住む人と、新しく住み始めた人との線引きがなくなる	以前から豊明に住む人と、新しく住み始めた人との線引きがなくなる

幸せ × 性別



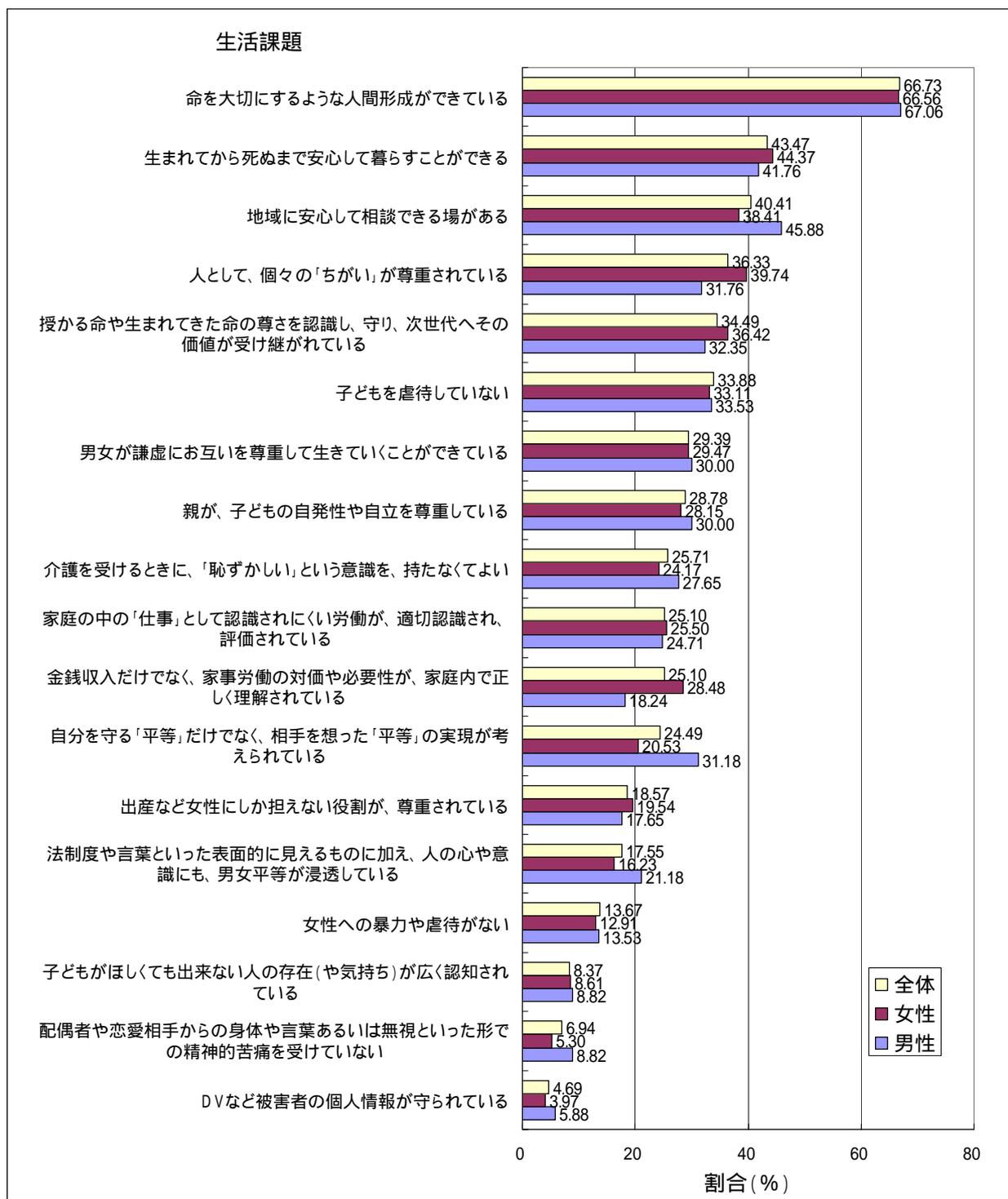
	男性	女性
1位	男女としてではなく、人として、自然に支えあえる関係ができています	生まれてから死ぬまで安心して暮らすことができる
2位	生まれてから死ぬまで安心して暮らすことができる	精神的に穏やかに育児をすることができています
3位	定年を迎えても、ひとりぼっちのような感覚を抱いていない	男女としてではなく、人として、自然に支えあえる関係ができています
4位	若い人が、子育てに対して負担感ばかりを持たず、希望や楽しみといったよい印象を抱いている	定年を迎えても、ひとりぼっちのような感覚を抱いていない
5位	子どもが、育ててくれた(ている)ことに対して、感謝の意識を持っている	子どもができ、親になれて子育てができることを幸せに思うことができる

育む×性別



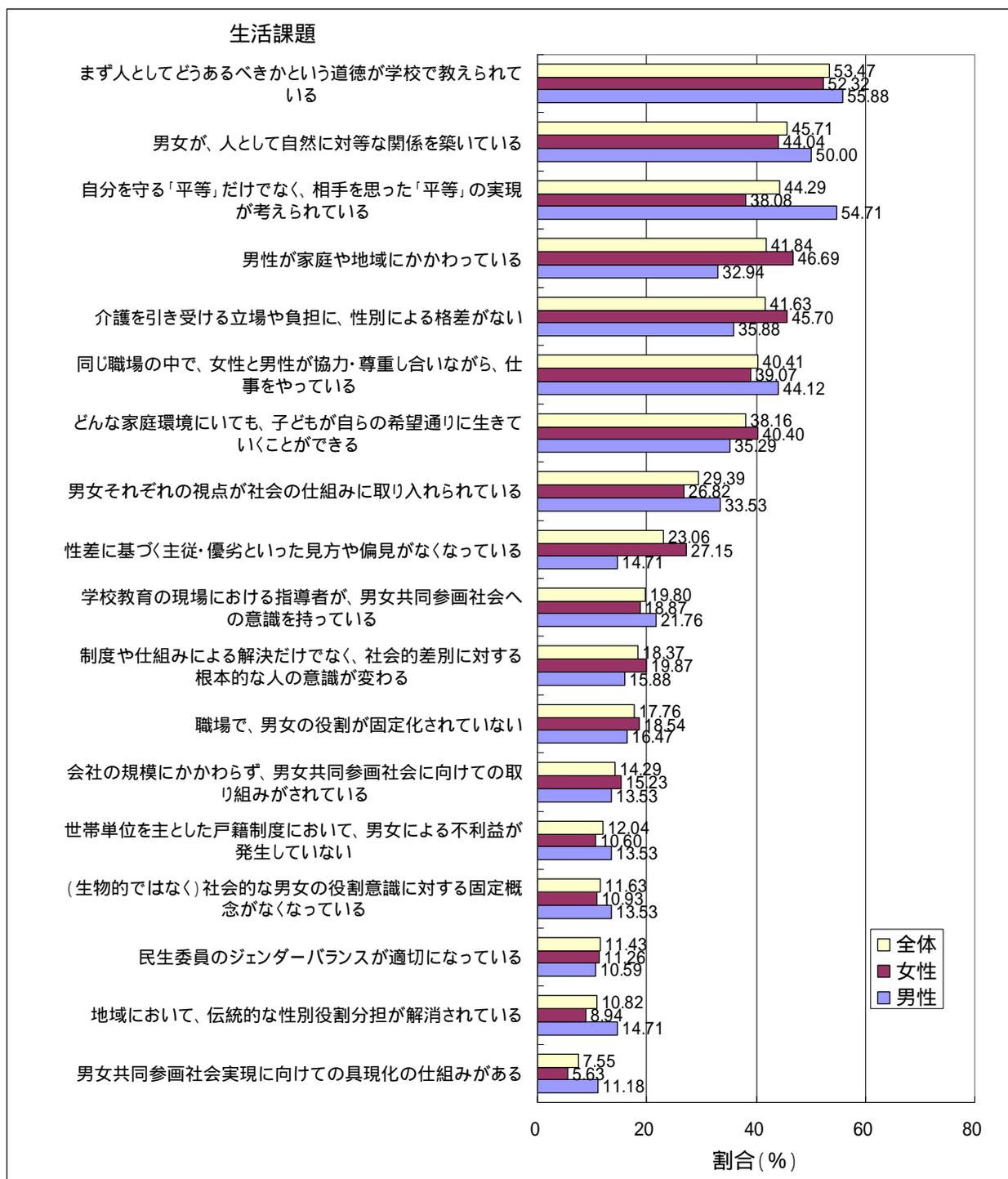
	男性	女性
1位	勉強ばかりではなく、子どもの得意なところや長所を伸ばせられるよう、子育てがされている	父親が、積極的に子育てにかかわっている
2位	子どもが小さいときから、自分の身の回りのことができるように教えている 保育サービスが柔軟かつ多様(多機能)にあり、子どもを預けやすい	勉強ばかりではなく、子どもの得意なところや長所を伸ばせられるよう、子育てがされている
3位	親だけでなく、地域も学校も子どもを育てる意識を持っている	保育サービスが柔軟かつ多様(多機能)にあり、子どもを預けやすい
4位	父親が、積極的に子育てにかかわっている 家庭内の子育て・子育ての環境がきちんと作られている	子どもが差別をしない・されない環境の中で育っている
5位	子どもが差別をしない・されない環境の中で育っている	親だけでなく、地域も学校も子どもを育てる意識を持っている

尊重 × 性別



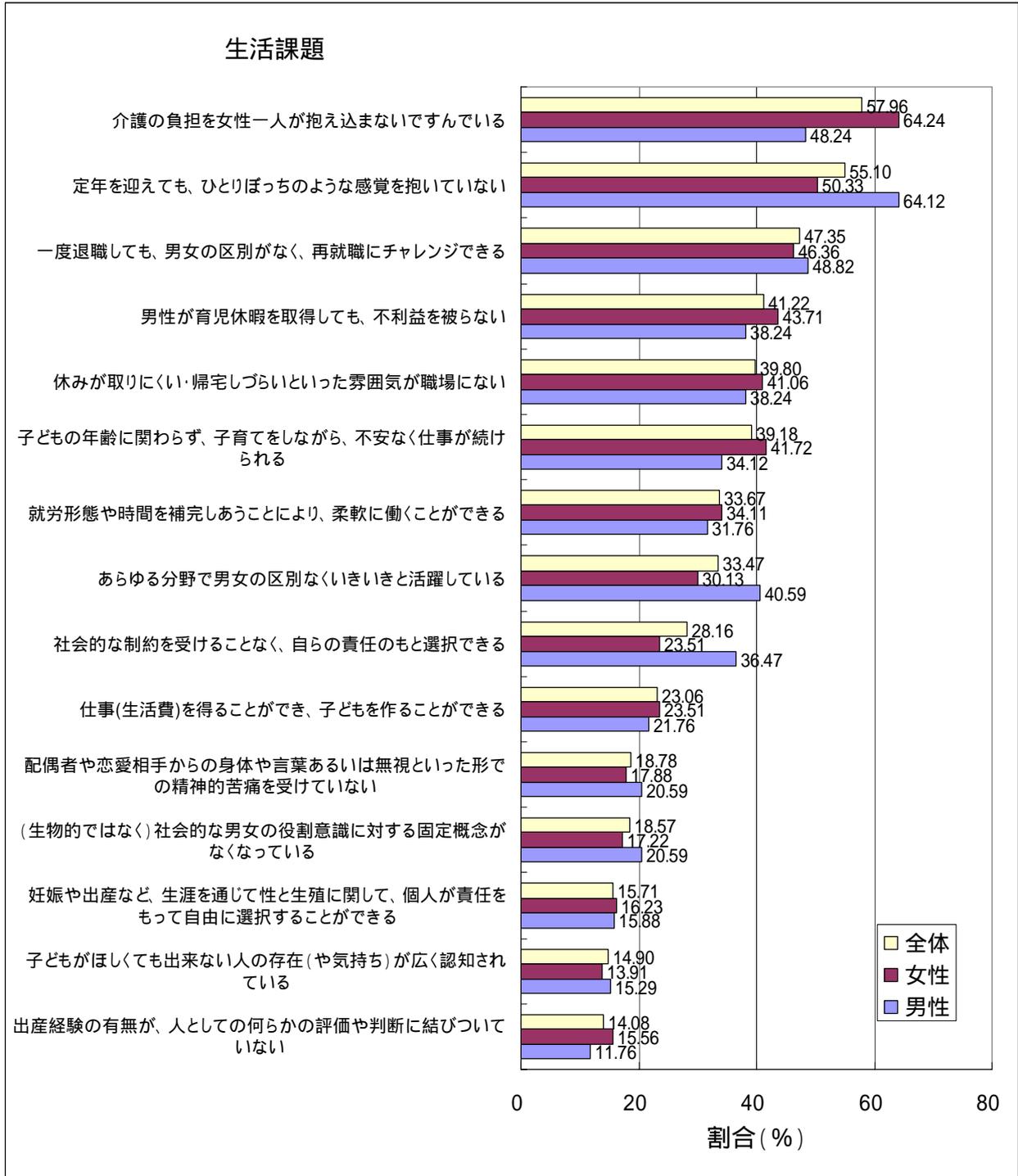
	男性	女性
1位	命を大切にするような人間形成ができています	命を大切にするような人間形成ができています
2位	地域に安心して相談できる場がある	生まれてから死ぬまで安心して暮らすことができる
3位	生まれてから死ぬまで安心して暮らすことができる	人として、個々の「ちがひ」が尊重されている
4位	子どもを虐待していない	地域に安心して相談できる場がある
5位	授かる命や生まれてきた命の尊さを認識し、守り、次世代へその価値が受け継がれている	授かる命や生まれてきた命の尊さを認識し、守り、次世代へその価値が受け継がれている

平等 × 性別



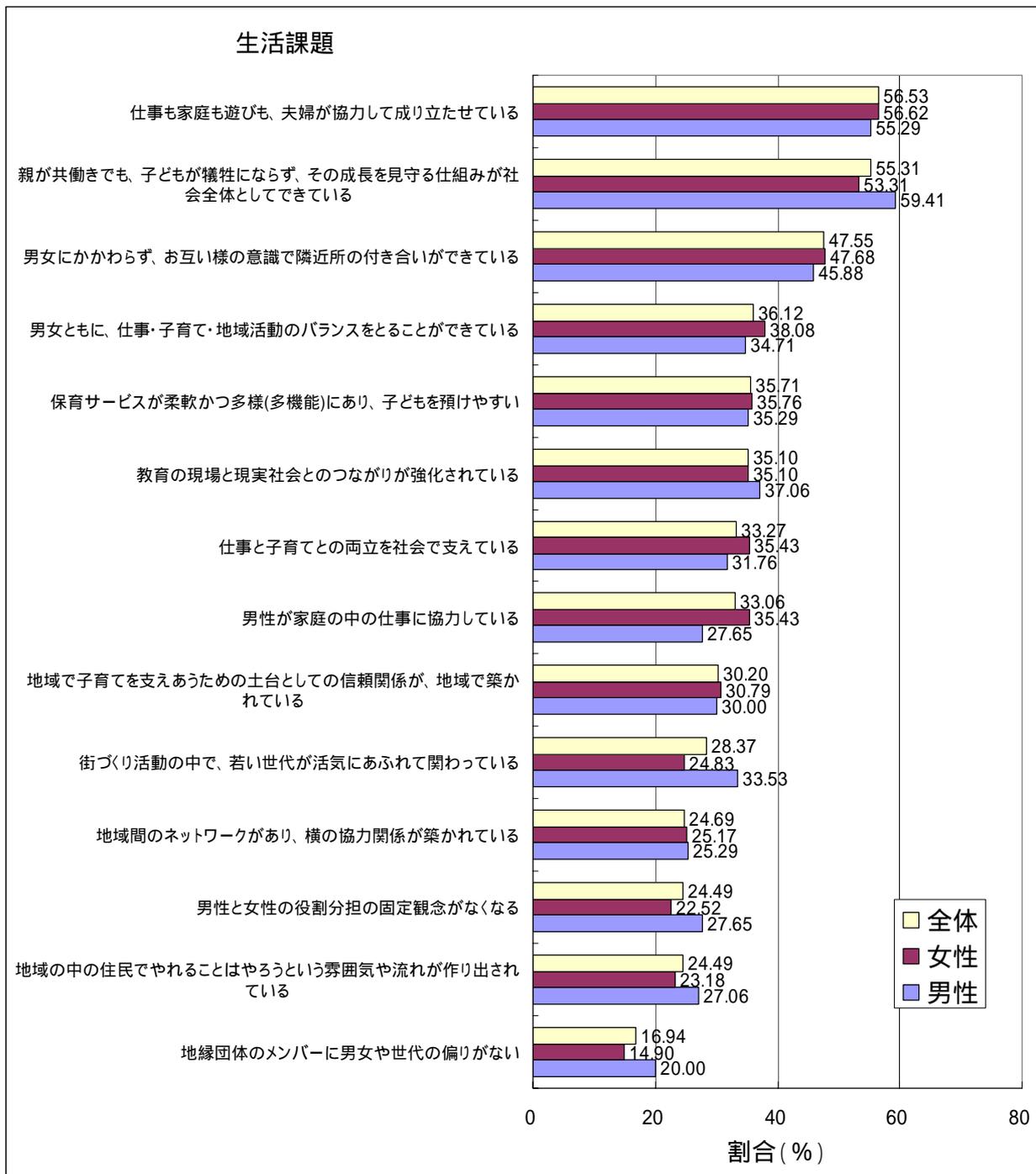
	男性	女性
1位	まず人としてどうあるべきかという道徳が学校で教えられている	まず人としてどうあるべきかという道徳が学校で教えられている
2位	自分を守る「平等」だけでなく、相手を思った「平等」の実現が考えられている	男性が家庭や地域にかかわっている
3位	男女が、人として自然に対等な関係を築いている	介護を引き受ける立場や負担に、性別による格差がない
4位	同じ職場の中で、女性と男性が協力・尊重し合いながら、仕事をやっている	男女が、人として自然に対等な関係を築いている
5位	介護を引き受ける立場や負担に、性別による格差がない	どんな家庭環境にいても、子どもが自らの希望通りに生きていくことができる

自由 × 性別



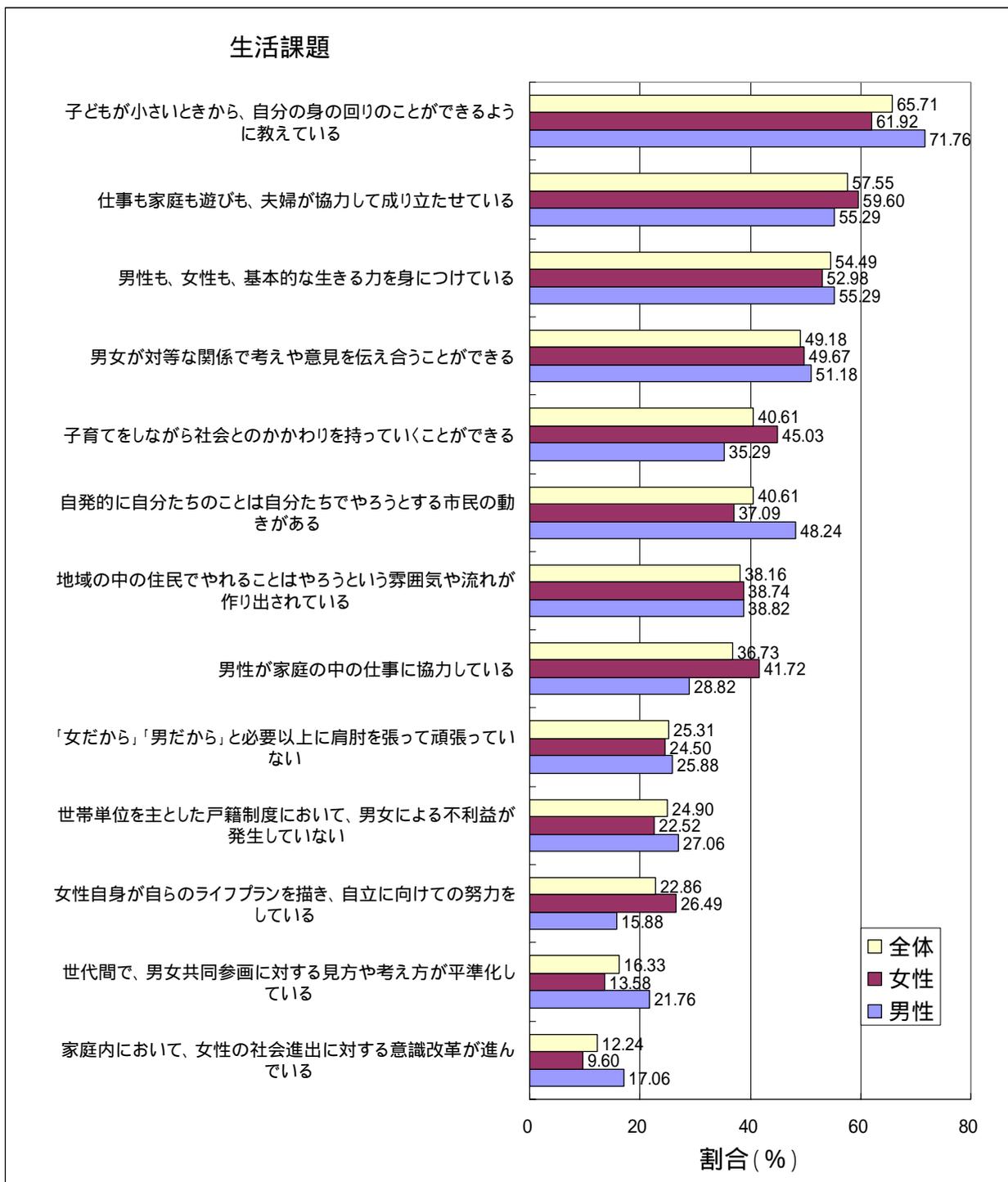
	男性	女性
1位	定年を迎えても、ひとりぼっちのような感覚を抱いていない	介護の負担を女性一人が抱え込まないですんでいる
2位	一度退職しても、男女の区別がなく、再就職にチャレンジできる	定年を迎えても、ひとりぼっちのような感覚を抱いていない
3位	介護の負担を女性一人が抱え込まないですんでいる	一度退職しても、男女の区別がなく、再就職にチャレンジできる
4位	あらゆる分野で男女の区別なくいきいきと活躍している	男性が育児休暇を取得しても、不利益を被らない
5位	男性が育児休暇を取得しても、不利益を被らない	子どもの年齢に関わらず、子育てをしながら、不安なく仕事が続けられる

連携 × 性別



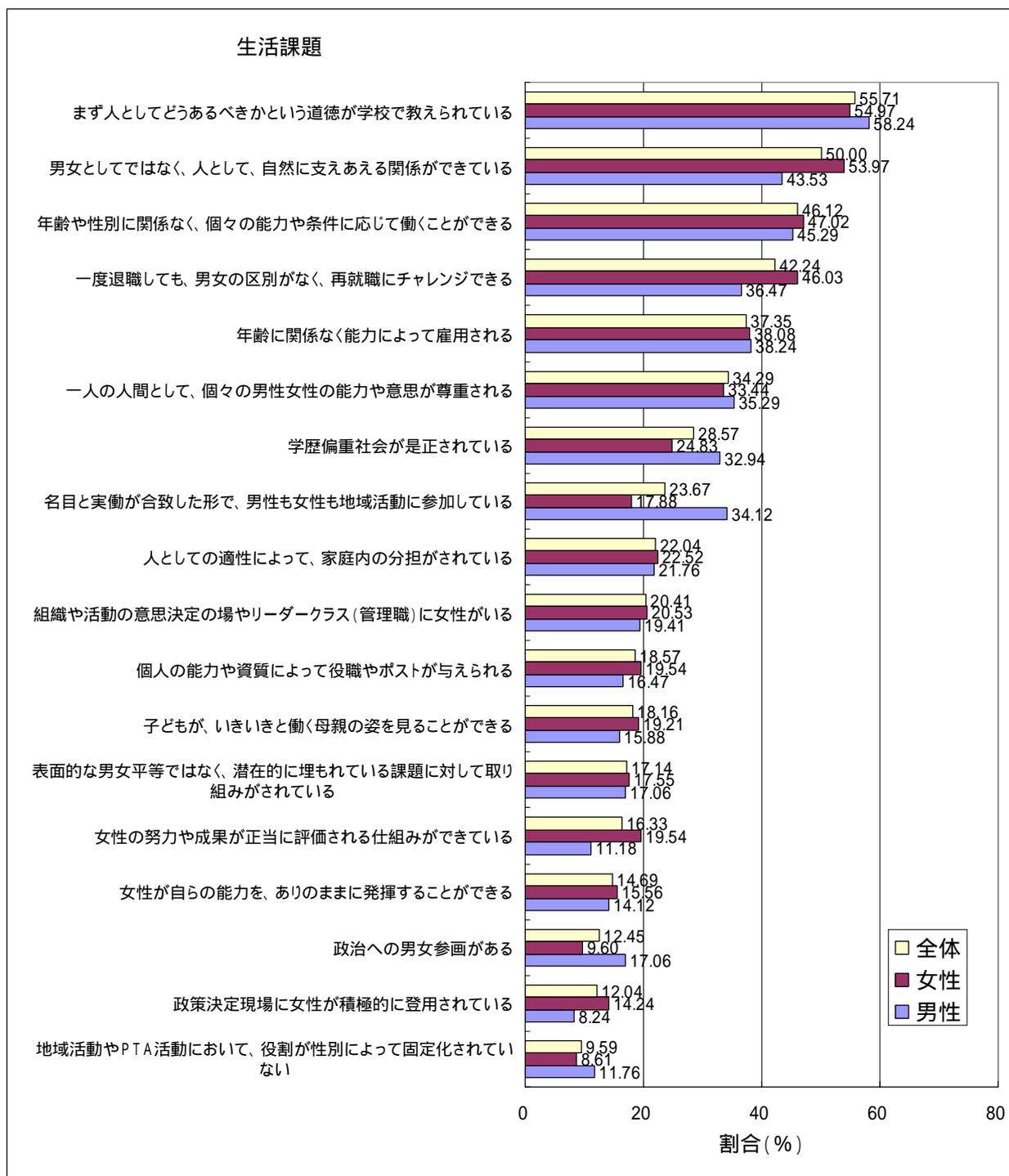
	男性	女性
1位	親が共働きでも、子どもが犠牲にならず、その成長を見守る仕組みが社会全体としてできている	仕事も家庭も遊びも、夫婦が協力して成り立たせている
2位	仕事も家庭も遊びも、夫婦が協力して成り立たせている	親が共働きでも、子どもが犠牲にならず、その成長を見守る仕組みが社会全体としてできている
3位	男女にかかわらず、お互い様の意識で隣近所の付き合いができています	男女にかかわらず、お互い様の意識で隣近所の付き合いができています
4位	教育の現場と現実社会とのつながりが強化されている	男女ともに、仕事・子育て・地域活動のバランスをとることができている
5位	保育サービスが柔軟かつ多様(多機能)にあり、子どもを預けやすい	保育サービスが柔軟かつ多様(多機能)にあり、子どもを預けやすい

自立×性別



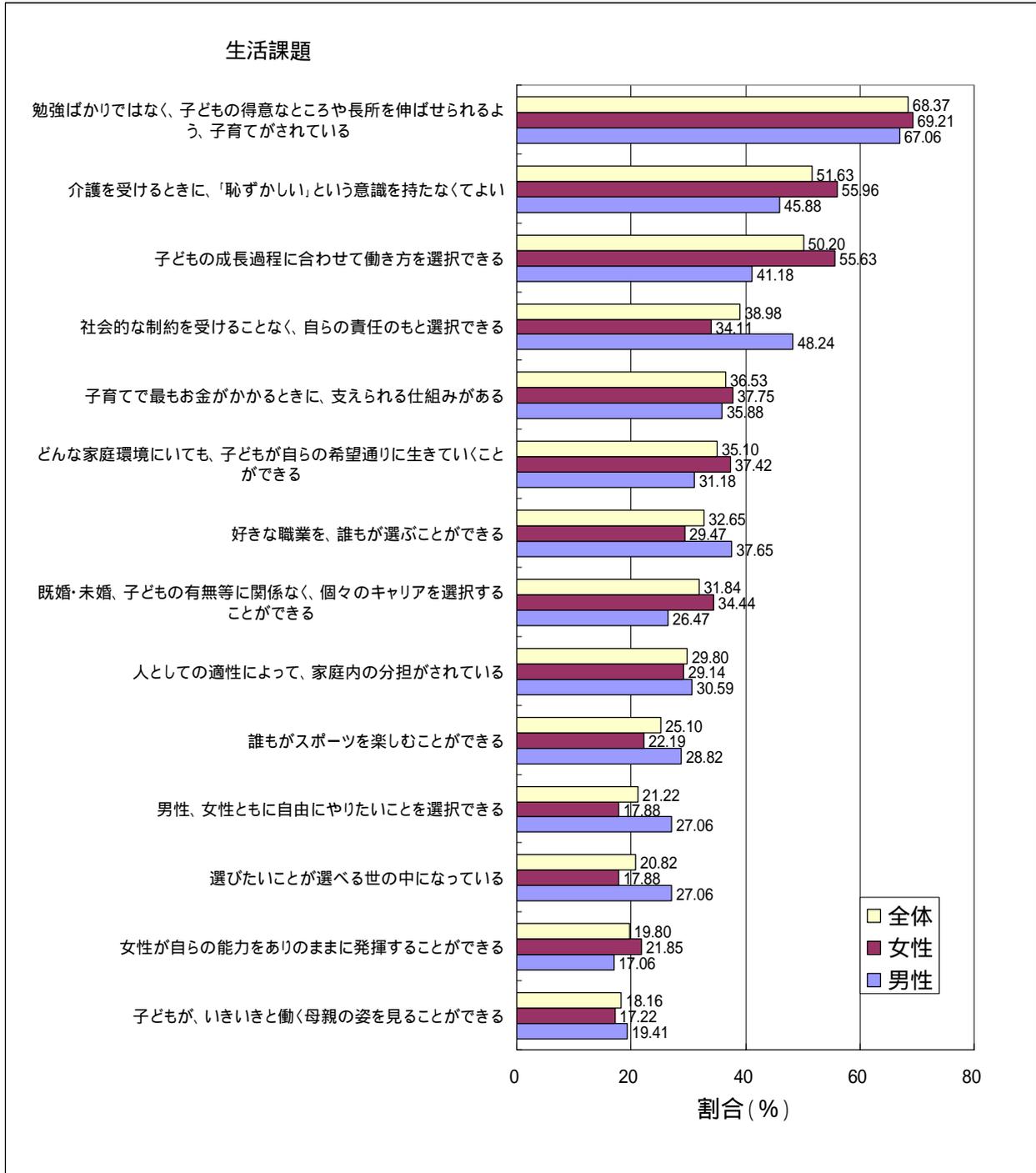
	男性	女性
1位	子どもが小さいときから、自分の身の回りのことができるように教えている	子どもが小さいときから、自分の身の回りのことができるように教えている
2位	仕事も家庭も遊びも、夫婦が協力して成り立たせている	仕事も家庭も遊びも、夫婦が協力して成り立たせている
3位	男性も、女性も、基本的な生きる力を身につけている	男性も、女性も、基本的な生きる力を身につけている
4位	男女が対等な関係で考えや意見を伝え合うことができる	男女が対等な関係で考えや意見を伝え合うことができる
5位	自発的に自分たちのことは自分たちでやろうとする市民の動きがある	子育てをしながら社会とのかかわりを持っていくことができる

能力 × 性別



	男性	女性
1位	まず人としてどうあるべきかという道徳が学校で教えられている	まず人としてどうあるべきかという道徳が学校で教えられている
2位	年齢や性別に関係なく、個々の能力や条件に応じて働くことができる	男女としてではなく、人として、自然に支えあえる関係ができています
3位	男女としてではなく、人として、自然に支えあえる関係ができています	年齢や性別に関係なく、個々の能力や条件に応じて働くことができる
4位	年齢に関係なく能力によって雇用される	一度退職しても、男女の区別がなく、再就職にチャレンジできる
5位	一度退職しても、男女の区別がなく、再就職にチャレンジできる	年齢に関係なく能力によって雇用される

選択×性別

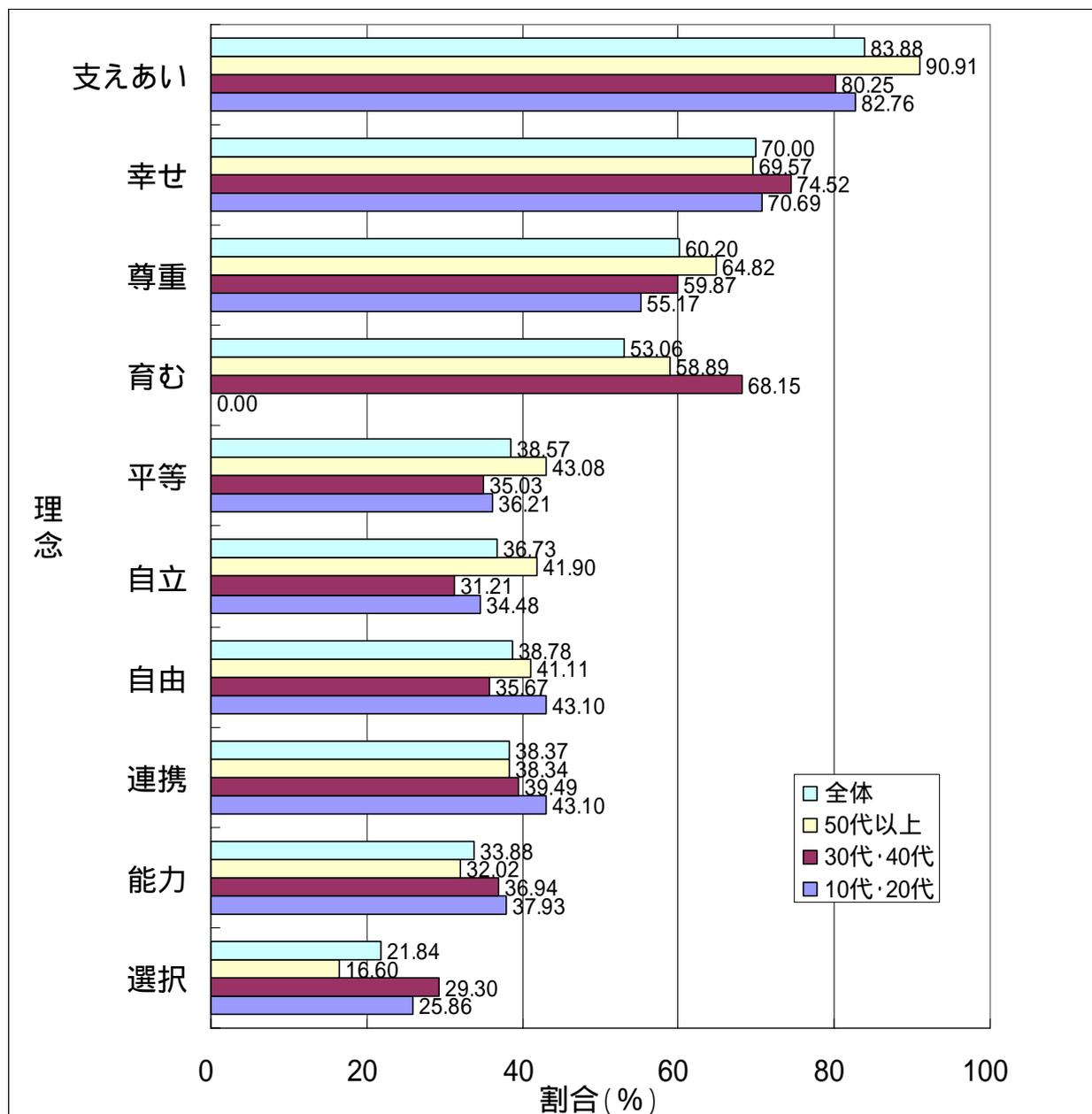


	男性	女性
1位	勉強ばかりではなく、子どもの得意なところや長所を伸ばせられるよう、子育てがされている	勉強ばかりではなく、子どもの得意なところや長所を伸ばせられるよう、子育てがされている
2位	社会的な制約を受けることなく、自らの責任のもと選択できる	介護を受けるときに、「恥ずかしい」という意識を持たなくてよい
3位	介護を受けるときに、「恥ずかしい」という意識を持たなくてよい	子どもの成長過程に合わせて働き方を選択できる
4位	子どもの成長過程に合わせて働き方を選択できる	子育てで最もお金がかかるときに、支えられる仕組みがある
5位	好きな職業を、誰もが選ぶことができる	どんな家庭環境にいても、子どもが自らの希望通りに生きていくことができる

2. 『年代』ごとのクロス集計結果

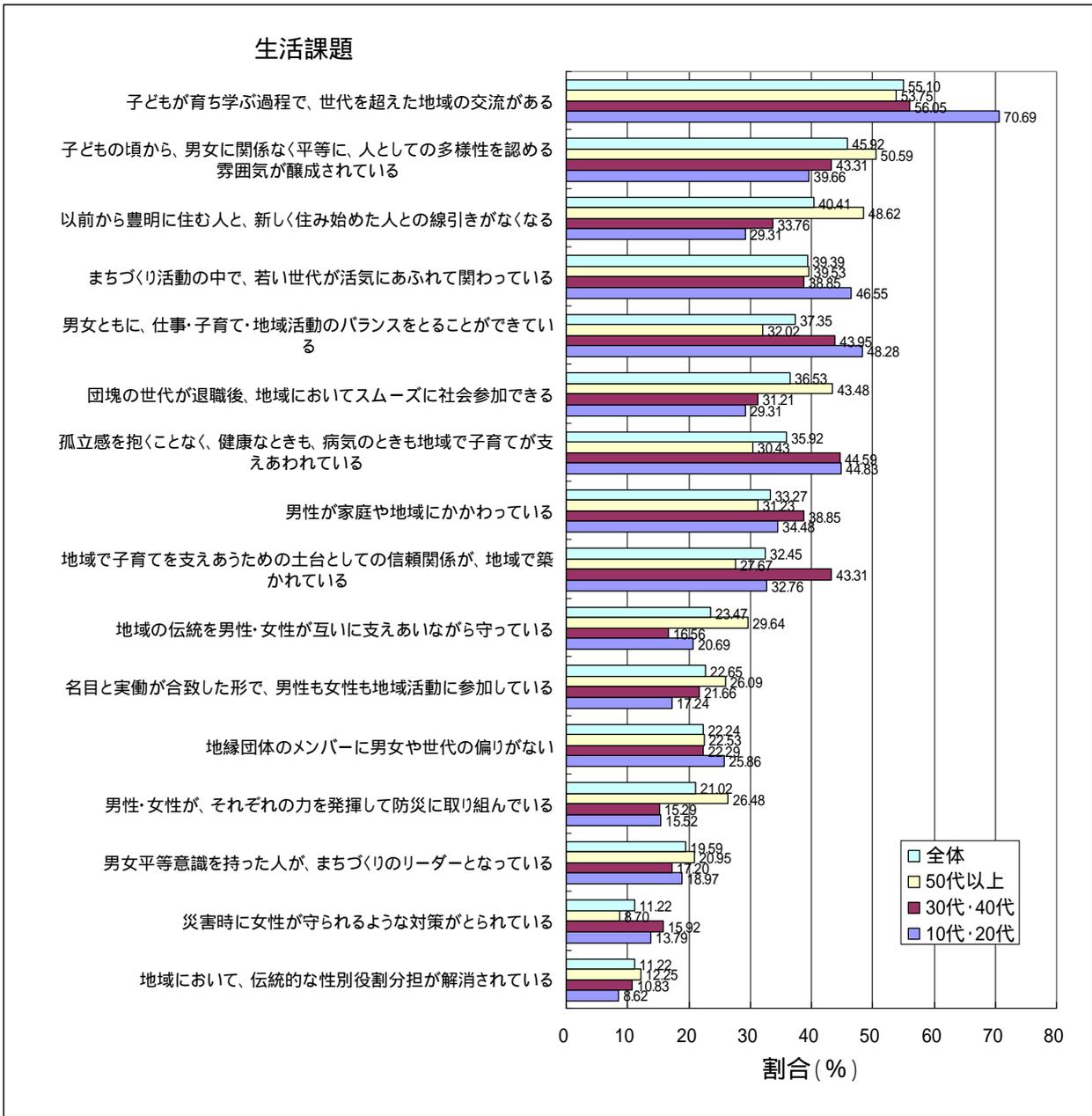
10代・20代、30代・40代、50代以上に年代を分け、それぞれの項目とクロス集計をした。

(1) 「めざす姿・方向性(キーワード)」の優先度 (年代×めざす姿)

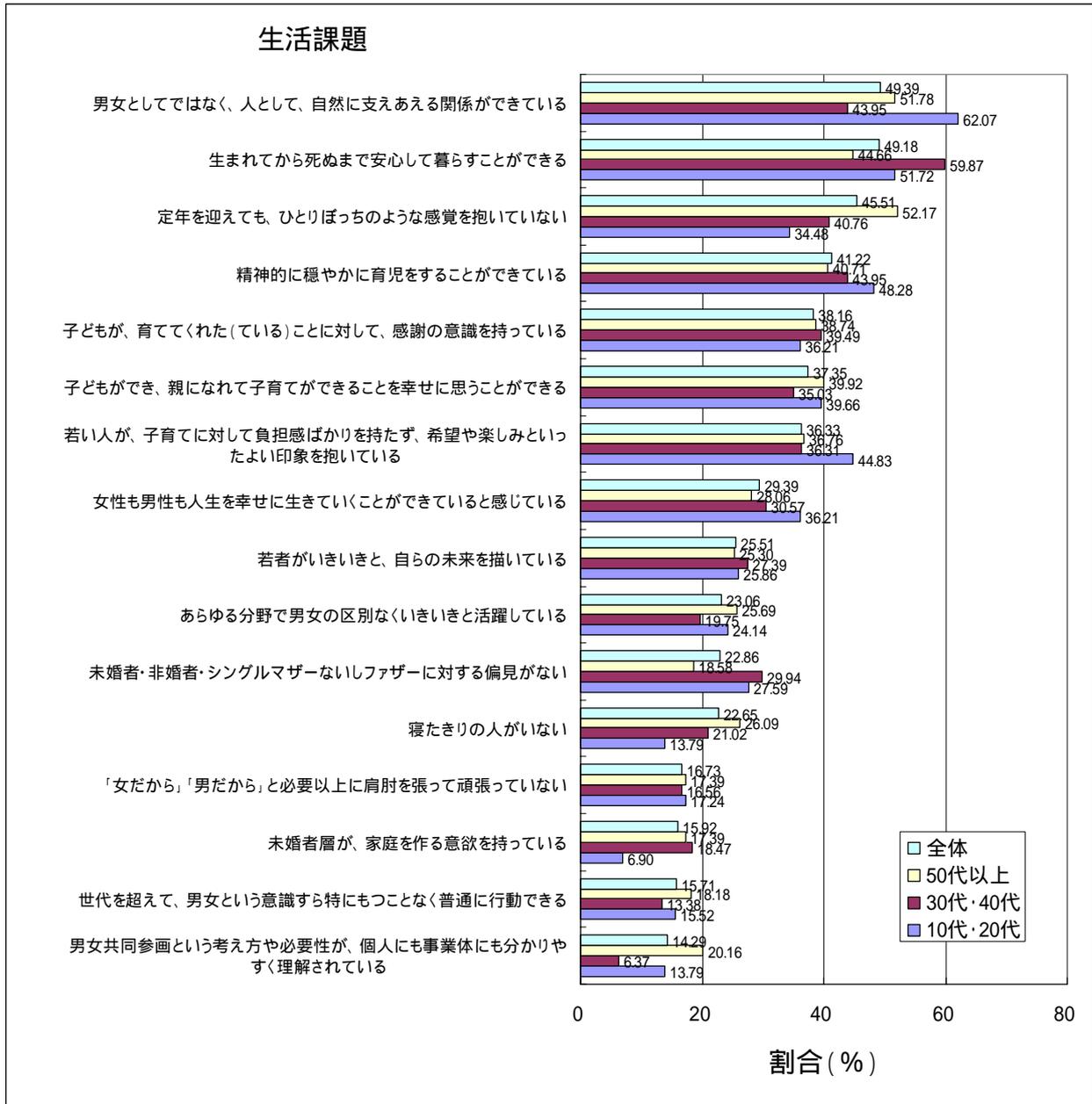


	全体	10代・20代	30代・40代	50代以上
1位	支えあい	支えあい	支えあい	支えあい
2位	幸せ	幸せ	幸せ	幸せ
3位	尊重	尊重	育む	尊重
		育む		
4位	育む	自由	尊重	育む
		連携		
5位	自由	能力	連携	平等

(2)「めざす姿・方向性」を実現するうえでの「課題」の重要度
 支えあい×年代

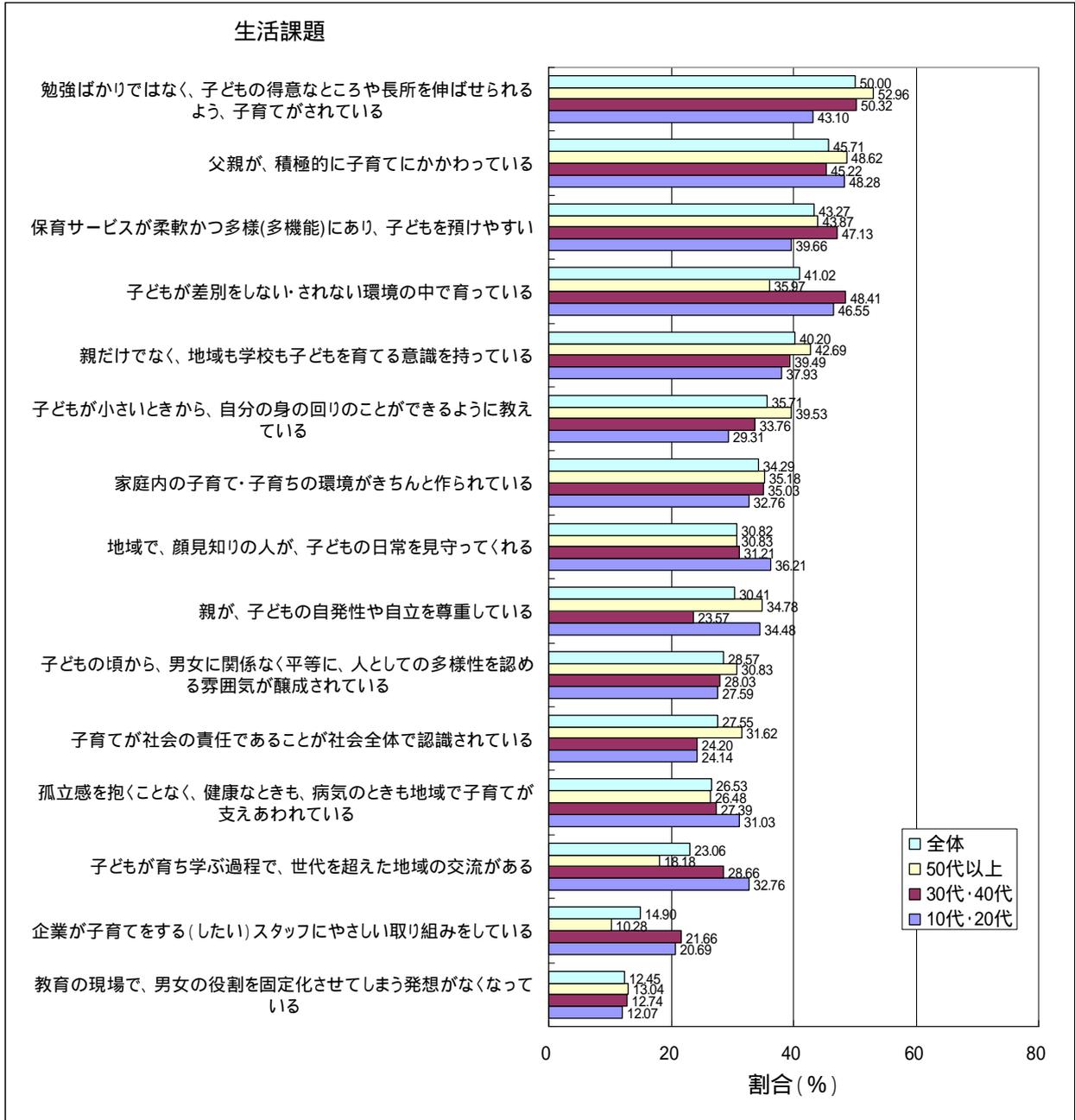


	10代・20代	30代・40代	50代以上
1位	子どもが育ち学ぶ過程で、世代を超えた地域の交流がある	子どもが育ち学ぶ過程で、世代を超えた地域の交流がある	子どもが育ち学ぶ過程で、世代を超えた地域の交流がある
2位	男女ともに、仕事・子育て・地域活動のバランスをとることができている	孤立感を抱くことなく、健康なときも、病気のときも地域で子育てが支えあわれている	子どもの頃から、男女に関係なく平等に、人としての多様性を認める雰囲気が醸成されている
3位	まちづくり活動の中で、若い世代が活気にあふれて関わっている	男女ともに、仕事・子育て・地域活動のバランスをとることができている	以前から豊明に住む人と、新しく住み始めた人との線引きがなくなる
4位	孤立感を抱くことなく、健康なときも、病気のときも地域で子育てが支えあわれている	子どもの頃から、男女に関係なく平等に、人としての多様性を認める雰囲気が醸成されている	団塊の世代が退職後、地域においてスムーズに社会参加できる
5位	子どもの頃から、男女に関係なく平等に、人としての多様性を認める雰囲気が醸成されている	地域で子育てを支えあうための土台としての信頼関係が、地域で築かれている	まちづくり活動の中で、若い世代が活気にあふれて関わっている



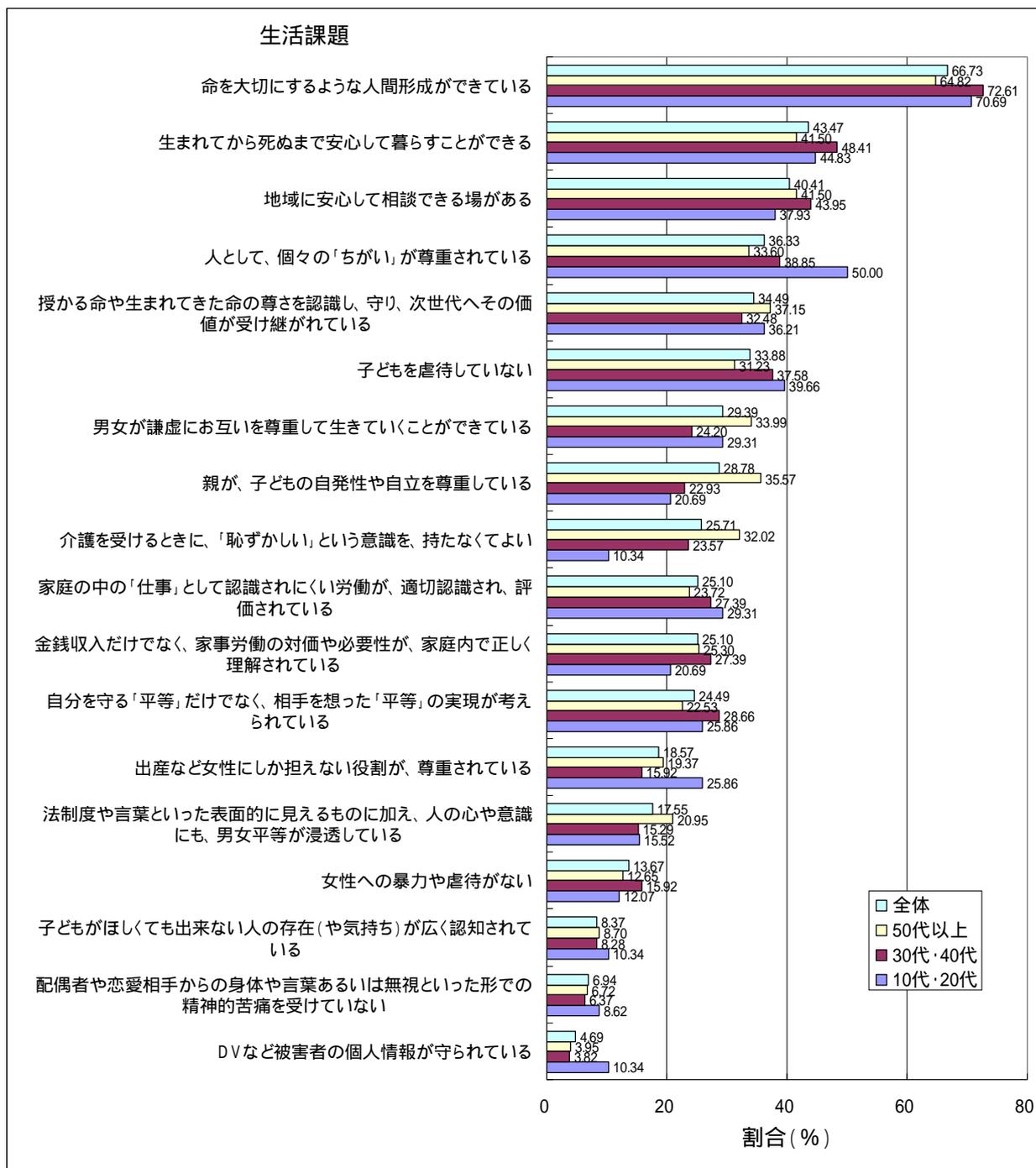
	10代・20代	30代・40代	50代以上
1位	男女としてではなく、人として、自然に支えあえる関係ができています	生まれてから死ぬまで安心して暮らすことができる	定年を迎えても、ひとりぼっちのような感覚を抱いていない
2位	生まれてから死ぬまで安心して暮らすことができる	男女としてではなく、人として、自然に支えあえる関係ができています	男女としてではなく、人として、自然に支えあえる関係ができています
3位	精神的に穏やかに育児をすることができています	精神的に穏やかに育児をすることができています	生まれてから死ぬまで安心して暮らすことができる
4位	若い人が、子育てに対して負担感ばかりを持たず、希望や楽しみといったよい印象を抱いている	定年を迎えても、ひとりぼっちのような感覚を抱いていない	精神的に穏やかに育児をすることができています
5位	子どもができ、親になれて子育てができることを幸せに思うことができる	子どもが、育ててくれた(ている)ことに対して、感謝の意識を持っている	子どもができ、親になれて子育てができることを幸せに思うことができる

育む×年代

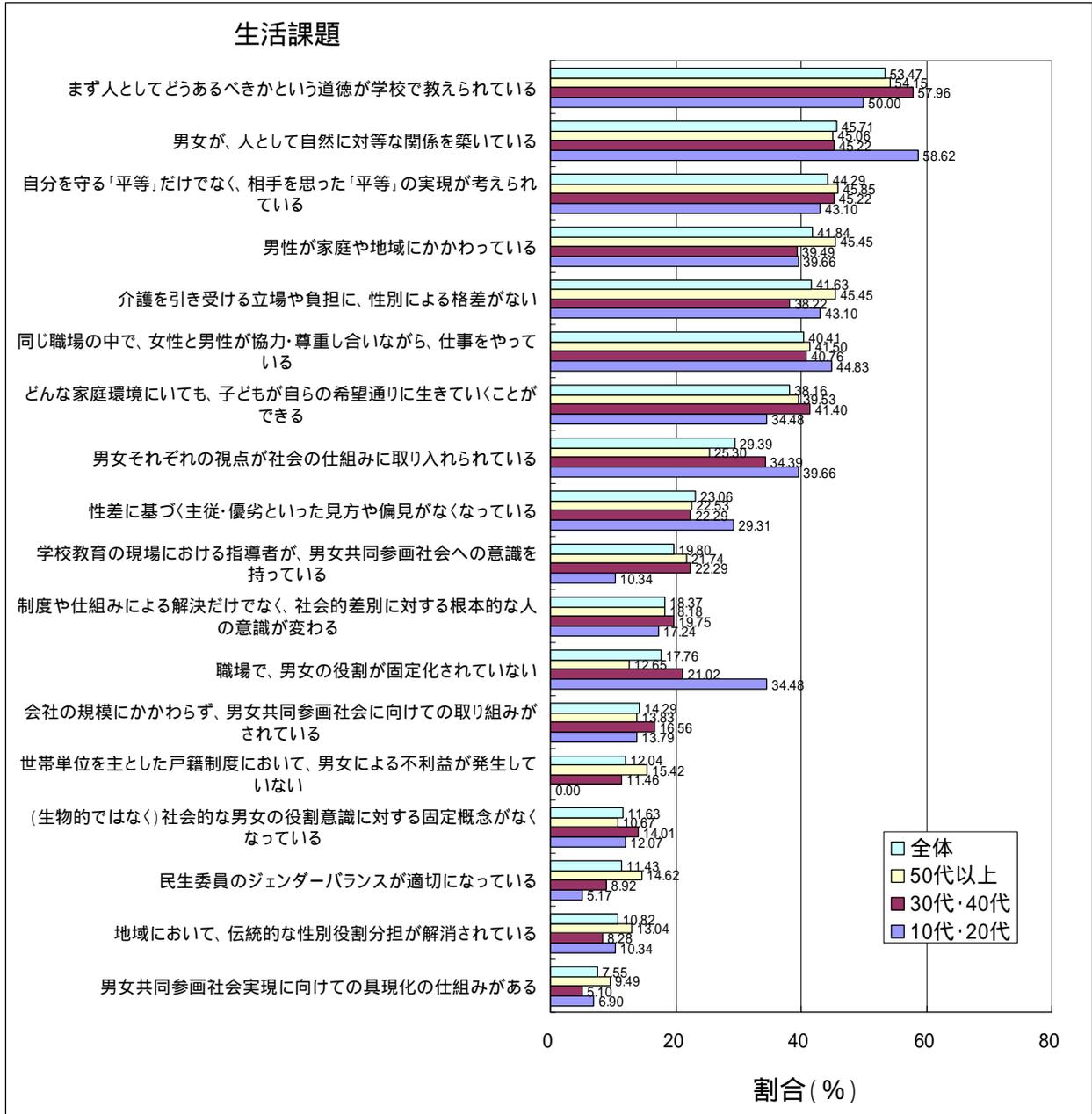


	10代・20代	30代・40代	50代以上
1位	父親が、積極的に子育てにかかわっている	勉強ばかりではなく、子どもの得意なところや長所を伸ばせられるよう、子育てがされている	勉強ばかりではなく、子どもの得意なところや長所を伸ばせられるよう、子育てがされている
2位	子どもが差別をしない・されない環境の中で育っている	子どもが差別をしない・されない環境の中で育っている	父親が、積極的に子育てにかかわっている
3位	勉強ばかりではなく、子どもの得意なところや長所を伸ばせられるよう、子育てがされている	保育サービスが柔軟かつ多様(多機能)にあり、子どもを預けやすい	保育サービスが柔軟かつ多様(多機能)にあり、子どもを預けやすい
4位	保育サービスが柔軟かつ多様(多機能)にあり、子どもを預けやすい	父親が、積極的に子育てにかかわっている	親だけでなく、地域も学校も子どもを育てる意識を持っている
5位	親だけでなく、地域も学校も子どもを育てる意識を持っている	親だけでなく、地域も学校も子どもを育てる意識を持っている	子どもが小さいときから、自分の身の回りのことができるように教えている

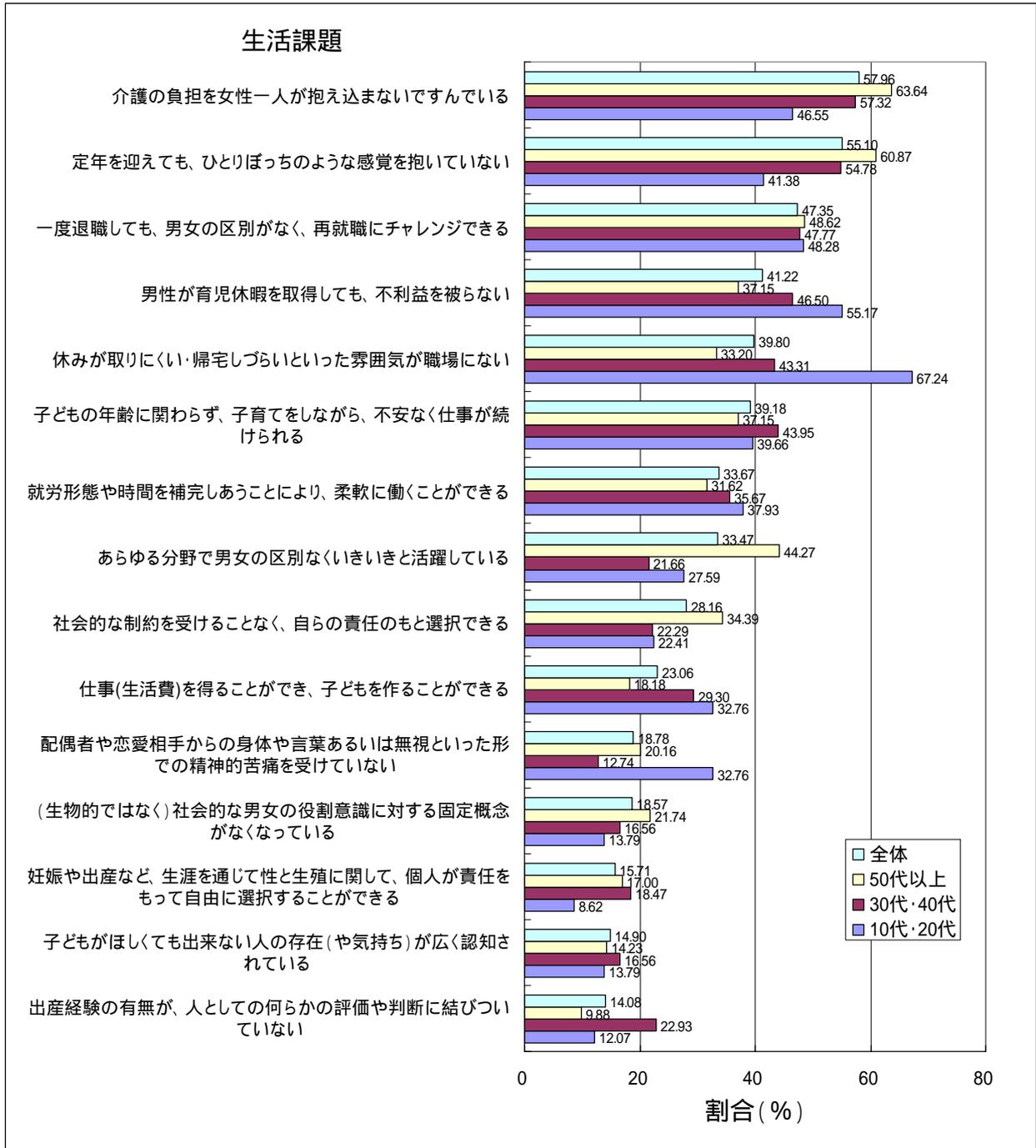
尊重 × 年代



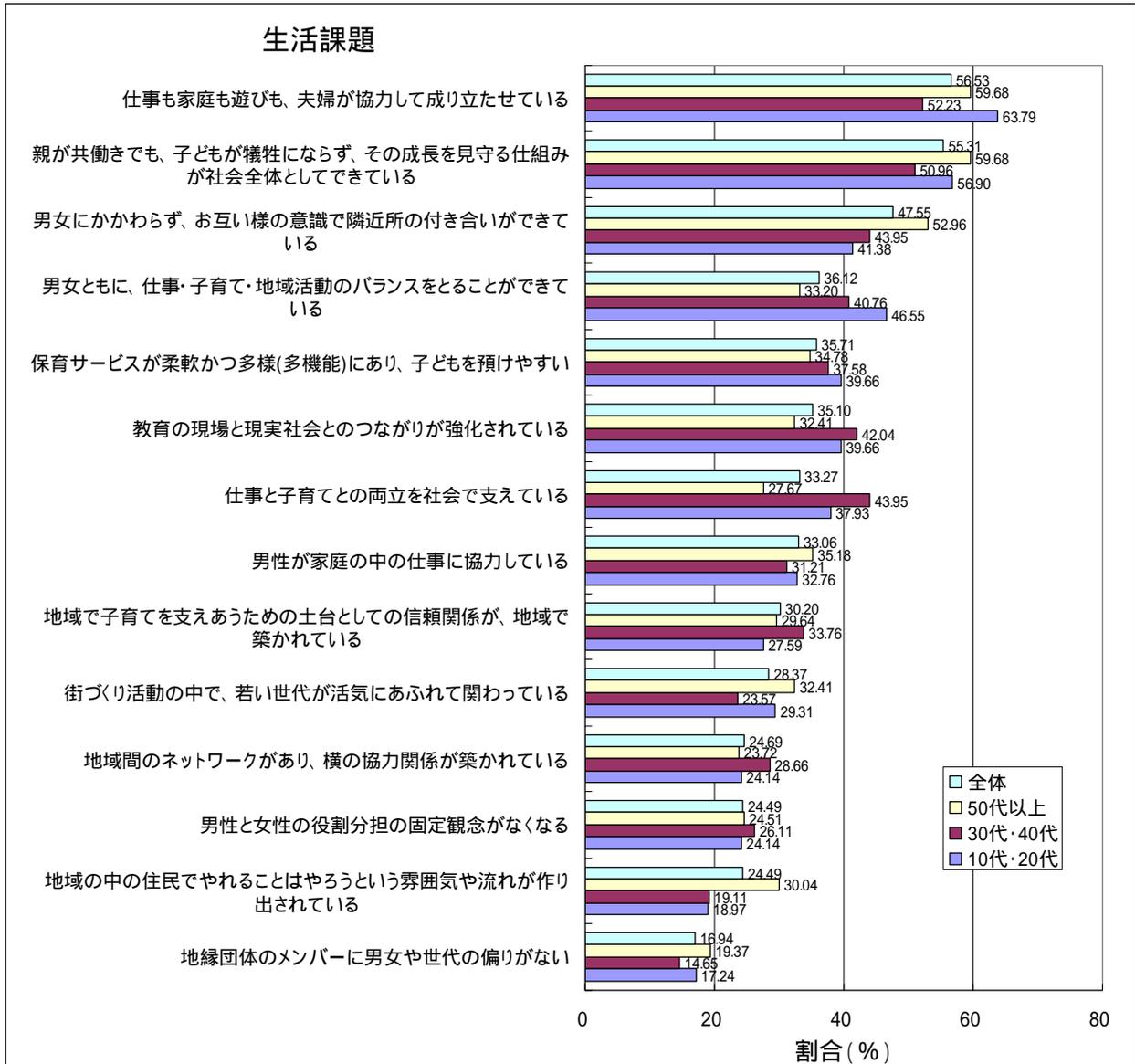
	10代・20代	30代・40代	50代以上
1位	命を大切にするような人間形成ができています	命を大切にするような人間形成ができています	命を大切にするような人間形成ができています
2位	人として、個々の「ちがいが」尊重されている	生まれてから死ぬまで安心して暮らすことができる	生まれてから死ぬまで安心して暮らすことができる
3位	生まれてから死ぬまで安心して暮らすことができる	地域に安心して相談できる場がある	地域に安心して相談できる場がある
4位	子どもを虐待していない	人として、個々の「ちがいが」尊重されている	授かる命や生まれてきた命の尊さを認識し、守り、次世代へその価値が受け継がれている
5位	地域に安心して相談できる場がある	子どもを虐待していない	親が、子どもの自発性や自立を尊重している



	10代・20代	30代・40代	50代以上
1位	男女が、人として自然に対等な関係を築いている	まず人としてどうあるべきかという道徳が学校で教えられている	まず人としてどうあるべきかという道徳が学校で教えられている
2位	まず人としてどうあるべきかという道徳が学校で教えられている	男女が、人として自然に対等な関係を築いている 自分を守る「平等」だけでなく、相手を思った「平等」の実現が考えられている	自分を守る「平等」だけでなく、相手を思った「平等」の実現が考えられている
3位	同じ職場の中で、女性と男性が協力・尊重し合いながら、仕事をやっている	どんな家庭環境にいても、子どもが自らの希望通りに生きていくことができる	男性が家庭や地域にかかわっている
4位	自分を守る「平等」だけでなく、相手を思った「平等」の実現が考えられている	同じ職場の中で、女性と男性が協力・尊重し合いながら、仕事をやっている	介護を引き受ける立場や負担に、性別による格差がない
5位	介護を引き受ける立場や負担に、性別による格差がない	男性が家庭や地域にかかわっている	男女が、人として自然に対等な関係を築いている

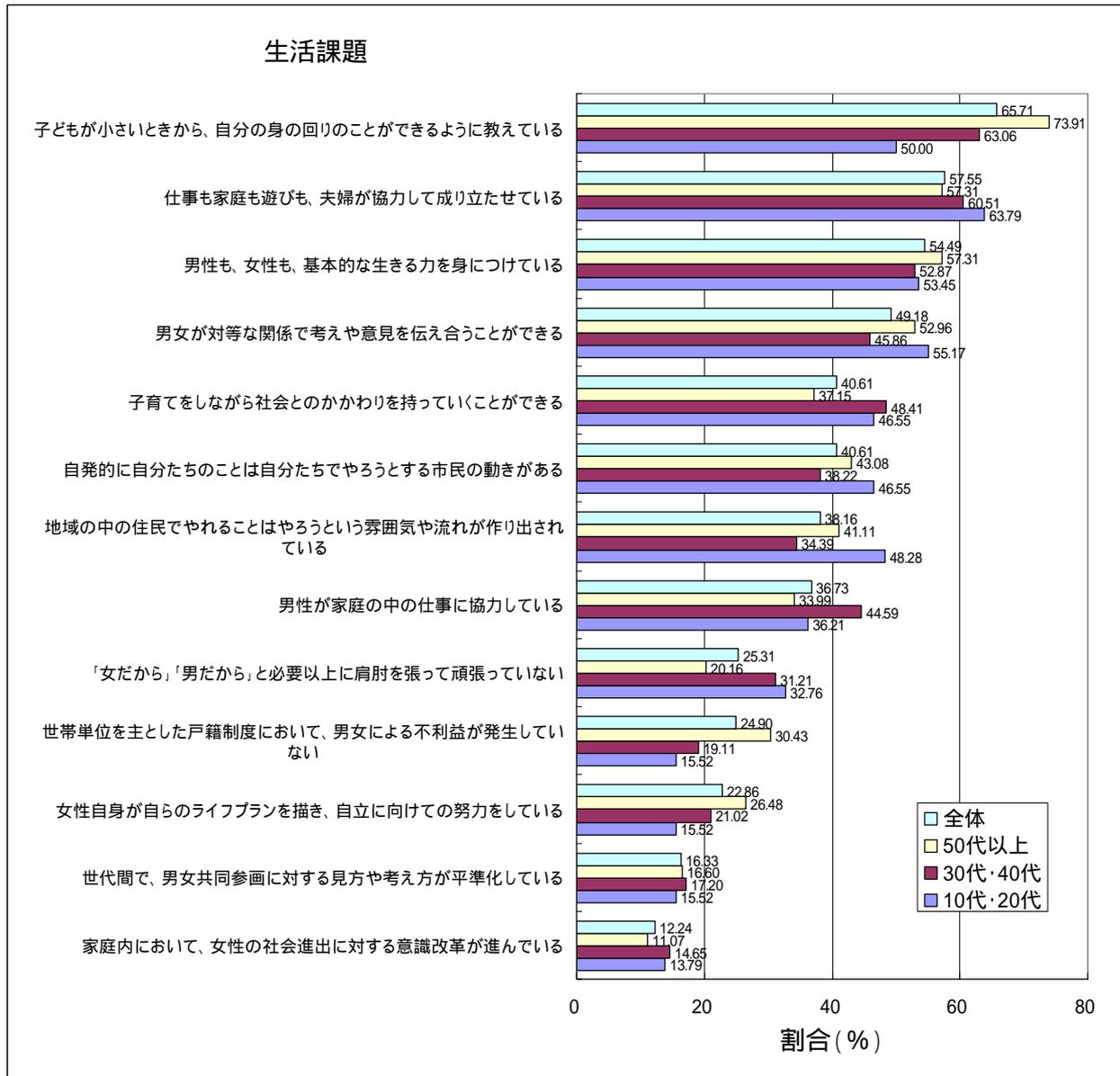


	10代・20代	30代・40代	50代以上
1位	休みが取りにくい・帰宅しづらいといった雰囲気が職場にない	介護の負担を女性一人が抱え込まないですんでいる	介護の負担を女性一人が抱え込まないですんでいる
2位	男性が育児休暇を取得しても、不利益を被らない	定年を迎えても、ひとりぼっちのような感覚を抱いていない	定年を迎えても、ひとりぼっちのような感覚を抱いていない
3位	一度退職しても、男女の区別がなく、再就職にチャレンジできる	一度退職しても、男女の区別がなく、再就職にチャレンジできる	一度退職しても、男女の区別がなく、再就職にチャレンジできる
4位	介護の負担を女性一人が抱え込まないですんでいる	男性が育児休暇を取得しても、不利益を被らない	あらゆる分野で男女の区別なくいきいきと活躍している
5位	定年を迎えても、ひとりぼっちのような感覚を抱いていない	子どもの年齢に関わらず、子育てをしながら、不安なく仕事が続けられる	男性が育児休暇を取得しても、不利益を被らない



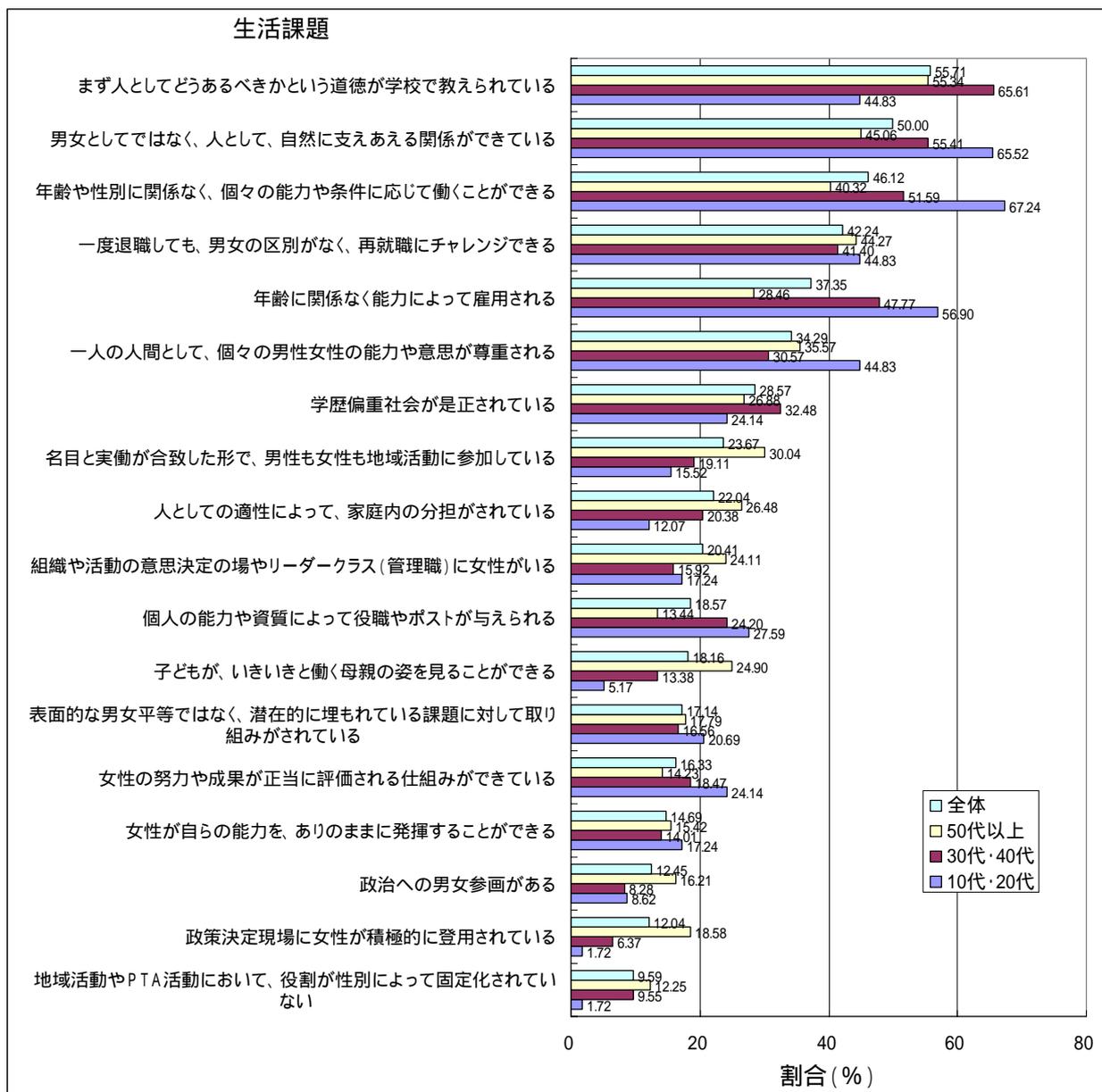
	10代・20代	30代・40代	50代以上
1位	仕事も家庭も遊びも、夫婦が協力して成り立たせている	仕事も家庭も遊びも、夫婦が協力して成り立たせている	仕事も家庭も遊びも、夫婦が協力して成り立たせている 親が共働きでも、子どもが犠牲にならず、その成長を見守る仕組みが社会全体としてできている
2位	親が共働きでも、子どもが犠牲にならず、その成長を見守る仕組みが社会全体としてできている	親が共働きでも、子どもが犠牲にならず、その成長を見守る仕組みが社会全体としてできている	男女にかかわらず、お互い様の意識で隣近所の付き合いができて
3位	男女ともに、仕事・子育て・地域活動のバランスをとることができている	男女にかかわらず、お互い様の意識で隣近所の付き合いができて 仕事と子育てとの両立を社会で支えている	男性が家庭の中の仕事に協力している
4位	男女にかかわらず、お互い様の意識で隣近所の付き合いができて	教育の現場と現実社会とのつながりが強化されている	保育サービスが柔軟かつ多様(多機能)にあり、子どもを預けやすい
5位	保育サービスが柔軟かつ多様(多機能)にあり、子どもを預けやすい	男女ともに、仕事・子育て・地域活動のバランスをとることができている	男女ともに、仕事・子育て・地域活動のバランスをとることができている

自立×年代



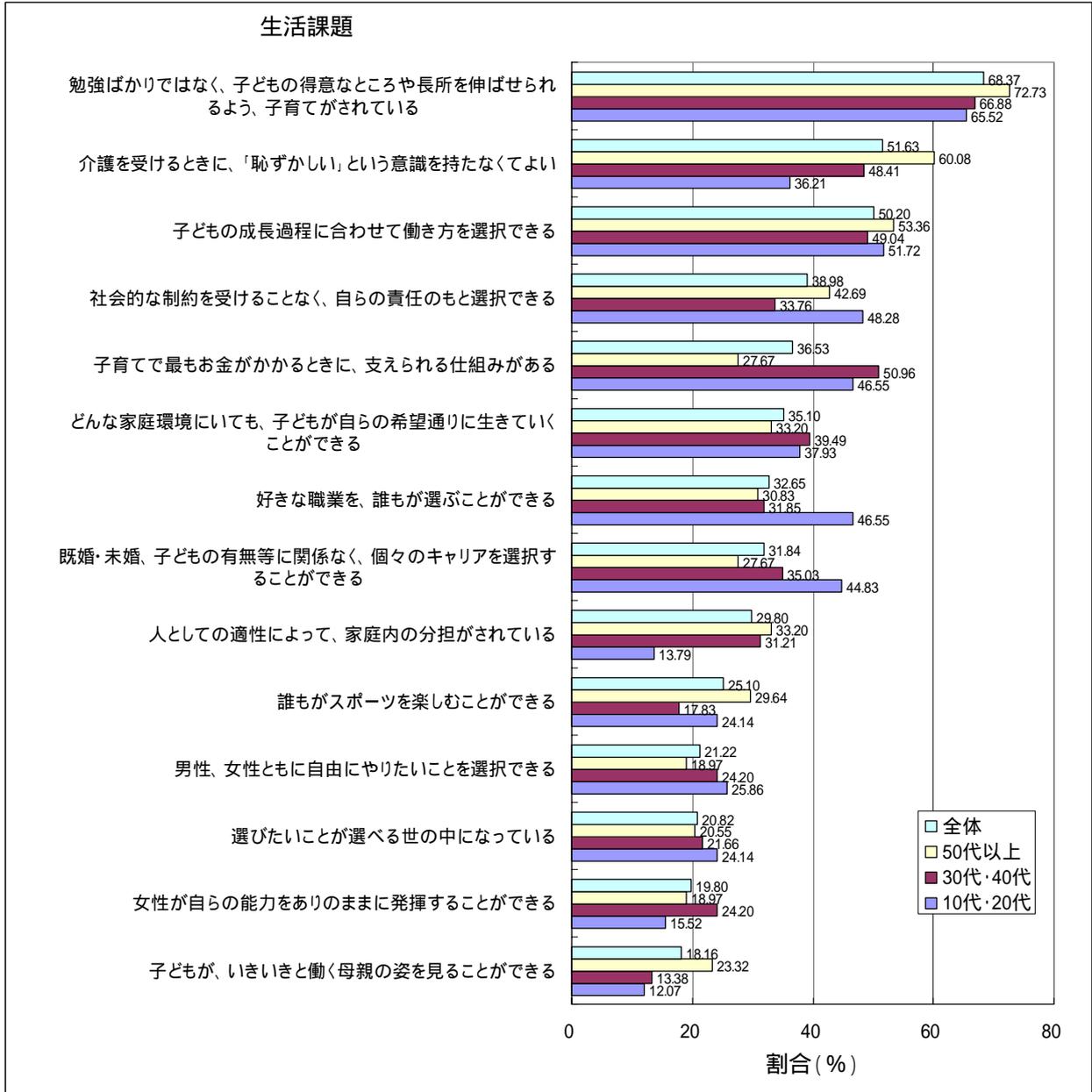
	10代・20代	30代・40代	50代以上
1位	仕事も家庭も遊びも、夫婦が協力して成り立たせている	子どもが小さいときから、自分の身の回りのことができるように教えている	子どもが小さいときから、自分の身の回りのことができるように教えている
2位	男女が対等な関係で考えや意見を伝え合うことができる	仕事も家庭も遊びも、夫婦が協力して成り立たせている	仕事も家庭も遊びも、夫婦が協力して成り立たせている 男性も、女性も、基本的な生きる力を身につけている
3位	男性も、女性も、基本的な生きる力を身につけている	男性も、女性も、基本的な生きる力を身につけている	男女が対等な関係で考えや意見を伝え合うことができる
4位	子どもが小さいときから、自分の身の回りのことができるように教えている	子育てをしながら社会とのかかわりを持っていくことができる	自発的に自分たちのことは自分たちでやろうとする市民の動きがある
5位	地域の中の住民でやれることはやろうという雰囲気や流れが作り出されている	男女が対等な関係で考えや意見を伝え合うことができる	地域の中の住民でやれることはやろうという雰囲気や流れが作り出されている

能力×年代



	10代・20代	30代・40代	50代以上
1位	年齢や性別に関係なく、個々の能力や条件に応じて働くことができる	まず人としてどうあるべきかという道徳が学校で教えられている	まず人としてどうあるべきかという道徳が学校で教えられている
2位	男女としてではなく、人として、自然に支えあえる関係ができています	男女としてではなく、人として、自然に支えあえる関係ができています	男女としてではなく、人として、自然に支えあえる関係ができています
3位	年齢に関係なく能力によって雇用される	年齢や性別に関係なく、個々の能力や条件に応じて働くことができる	一度退職しても、男女の区別がなく、再就職にチャレンジできる
4位	まず人としてどうあるべきかという道徳が学校で教えられている	年齢に関係なく能力によって雇用される	年齢や性別に関係なく、個々の能力や条件に応じて働くことができる
	一度退職しても、男女の区別がなく、再就職にチャレンジできる		
	一人の人間として、個々の男性女性の能力や意思が尊重される		
5位	個人の能力や資質によって役職やポストが与えられる	一度退職しても、男女の区別がなく、再就職にチャレンジできる	一人の人間として、個々の男性女性の能力や意思が尊重される

選択×年代



	10代・20代	30代・40代	50代以上
1位	勉強ばかりではなく、子どもの得意なところや長所を伸ばせられるよう、子育てがされている	勉強ばかりではなく、子どもの得意なところや長所を伸ばせられるよう、子育てがされている	勉強ばかりではなく、子どもの得意なところや長所を伸ばせられるよう、子育てがされている
2位	子どもの成長過程に合わせて働き方を選択できる	子育てで最もお金がかかるときに、支えられる仕組みがある	介護を受けるときに、「恥ずかしい」という意識を持たなくてよい
3位	社会的な制約を受けることなく、自らの責任のもと選択できる	子どもの成長過程に合わせて働き方を選択できる	子どもの成長過程に合わせて働き方を選択できる
4位	子育てで最もお金がかかるときに、支えられる仕組みがある	好きな職業を、誰もが選ぶことができる	社会的な制約を受けることなく、自らの責任のもと選択できる
5位	既婚・未婚、子どもの有無等に関係なく、個々のキャリアを選択することができる		どんな家庭環境にいても、子どもが自らの希望通りに生きていくことができる
			人としての適性によって、家庭内の分担がされている

自由記述欄のまとめ

【問1】「めざす姿・方向性」を実現するうえでの「生活課題」の重要度

めざす姿・方向性 キーワード「支えあい」

- ・ アパート・マンションが多くなってきた時代。近所にどういう人が住んでいるか、よく分からないのは恐ろしい。
- ・ キレル若者が多いし、マナーの悪い人も多い(ゴミ出しなど)。
- ・ 市県民税をもっと下げれば、もっと住みやすい市になると思います。
- ・ 地域の歴史を男女・年代関係なく、旧住人、新住人の隔たりなく学び理解に努め、今後役に立てる事が肝要です。今日あるのは先人のおかげ、未来に役立てる。
- ・ 子どもの安全、交通事故から守る、遊び場の安全。
- ・ 男女じゃなくて、弱い立場の人が守られるのなら良いと思う。弱い立場に女の人が多いだけで、男の人も入っていると思う。だから、男女平等じゃなく考えを人間平等の方が私はいいと思います。
- ・ 男性・女性が同じ事をするのではなく、性別の特性を活かした活動で支え合うべきである。
- ・ (1)について、昔からのしきたりがまだ残っている。

めざす姿・方向性 キーワード「選択」

- ・ 選択アンケートの課題項目に少し意味がおかしいと思われる項目があります。もう少し検討していただきたい。それは、男女共同参画と関係あるか？の項目があるからです。例えば7の好きな職業を、誰もが選ぶことができる？は、おかしいです。3も、ありません。それに、それは幸せにつながりません。
- ・ 同じ人間と言う立場で人を考える必要性が必要かと思う。
- ・ 選択の自由の反面、受け入れ側の平等体制作りを(縁故採用なき社会作り)どの職場・学校においても。
- ・ 男女に限らず、職業の選択と同等に子育て専業(特に幼い子の居る場合)の選択が立派な社会参加の一つとして認められるべきである。
- ・ 働く事の大切さを男性・女性共に身を持って教える事が必要と思う。又、行政側は義務教育の期間は児童手当を今の2倍程にすべき。その為の増税なら国民も理解すると思う。
- ・ 嘘偽りのない情報公開。
- ・ これから子育てをする親の教育の在り方と認識。

めざす姿・方向性 キーワード「自由」

- ・ 男性の育児休暇取得が当たり前になれる時代にして欲しい。
- ・ 自由には、責任が伴う事を忘れない事。
- ・ 妊婦や出産は夫婦二人が責任をもって選択すべきである。(個人の自由でシングルマザーを選択して子どもから父親をとりあげる権利はない)
- ・ 定年前(50代後半)から将来の自分の生き方を考えるべき。何らかの形で社会に貢献する事が最も重要と考えます。
- ・ DVは男らしさ=強さが暴力になっているような気がする。機能的な男女差はあるけれど、感情には男女差はないこと、強さは暴力で優位に立つことではないこと。

めざす姿・方向性 キーワード「育む」

- ・ 母親が孤立感を感じないよう、地域が一体となって少ない子どもを育てていく環境が必要。
- ・ 子どもが増えていくように市が環境を整えることが必要。
- ・ 日本のように極端に多い残業、パート・派遣などの不安定雇用という働く人たちの労働の在り方にメスを入れないと、「子どもを育むまち」もスローガンに終わってしまう。
- ・ 雇用条件、勤務形態を人間らしい生活ができるようにしなければならない。
- ・ 今は、小学校3年生までは児童クラブで無料で預かってきているが、有料でもいいから6年生までにして欲しい。名古屋市みたいに。希望します。
- ・ 他の市の友だちからも「豊明は怖いところ」と言われている。ブラジル系が多くなってきているので!!
- ・ 子どもの長所を伸ばすのも良いけど、短所を少なくさせるというのも大事だと思う。理由子どもの時に長所が多くなると、将来、仕事等で、色々活躍出来て良いと思うからです。
- ・ 子どもが自由に遊べる環境作り。
- ・ 子どもの未来を健全にする為に、地域ぐるみであいさつ等のしつけに関心を持つ。
- ・ 仕事を持った親が時間的こうそくも受けず安心して預けられる公的施設がある。(今の児童館や保育園の就業時間はあまりにも早すぎる。市外で勤めている者には18時までに迎えに行くのは無理)。
- ・ 人間としての上下関係(親と子・教師と生徒・上司と部下)を子どもが小さい時からしっかり教えないと社会人になってから通用なくなってしまう(孤立してしまう)。友達感覚ではいけない。
- ・ 子どもを人格のあるひとりの人間として尊ぶ。
- ・ 医療充実。休日や時間外の小児科医の確保。
- ・ 小さな子どもさんをお持ちの親御さんから休日や夜間の診療に対し、不安や不満の声をよく聞きます。もちろんわたしもそのように感じている一人です。

めざす姿・方向性 キーワード「能力」

- ・ 個々の能力が地域活動・ボランティアに活かされる。
- ・ 人間性の面より尊重すべき人の選択。
- ・ 能力の前に、年齢のせいでも面接してもらえない。
- ・ 出産などのために会社は辞めざるを得ないのに、子育てをしっかりとやろうとすると社会に戻りたくとも戻れません。また、雇っていただいても「能力」を見極められない経営者がとても多いです。お店でも教育されていないところが目立つ。
- ・ 能力があれば、町内会長、区長が二村台以外の地域にも実現すべき方向に向う事。
- ・ 女性を全面に押しださなくても、適材適所での分担をすべきだと思う。
- ・ (6)について、もっと女性が多くいてもよいと思う。
- ・ (18)について、区の役員にもっと女性がいるとよい。
- ・ 少子化が進み、大学も全入時代となる。どこの大学を出たかではなく、大学在学中にどんな目標を持ち、何を学んだかを重視すべき。行政主導で率先して官が行う。
- ・ 両親が生き生きと働く姿を見ることができる。
- ・ 一度退職しても市と積極的にかかわるシステムがある。

めざす姿・方向性 キーワード「自立」

- ・ 「子どもが小さい云々」という「1」の項目を重視しています。
- ・ わたしたちの世代(昭和30～45年生まれ)でも甘く育てられていると思いますが、それ以上に過保護だと思う。しかし、治安も悪くなり、送り迎えや買い物すら行かせられない。親の方もどこまでやらせるべきか考えてしまう。
- ・ 家の中ではなるべく「ダメな母」を演じ、子どもに手伝わせている現状です。市民の中の障害者も自立できるようにすると、差別というものが減ると思う。その点の自立も大切だと思います。
- ・ 自立にむけて努力しようとする人のための、様々なサービス、サポートが整っている。(介護・保育etc)
- ・ 自主防災意識をもっと高める必要があると思う。そのためのPRを広報や新聞などで行政側はもっと行うべき。今の状況では各自治会に丸投げしている感が強い。
- ・ 1日8時間、週5日間働いて一人で生活できる給料がある。(知的障害でも障害年金はもらえず、仕事しても生活できない給料ではどうしたらいいの?)

めざす姿・方向性 キーワード「尊重」

- ・ 口には出さないが不妊で悩む女性は多い。
- ・ もっと市が、地域が重く受け止めるべき。
- ・ むやみに聞かれる「子どもはまだ?」「二人目は?」もまた問題。
- ・ さまざまな地位・職場の人々、若者・高齢者からの意見を聞く。
- ・ 男女は人間として平等であるが、男性らしさ女性らしさの特性のちがいが、それぞれの美点を認め合い尊重し合っている。
- ・ 男性は主婦の家事労働を金銭に置き換えて良く考え、感謝の心を示す態度が大切、又子どもに対しては小さい時から命の大切さを重ね重ね教え込む事が大事だと思う。マスコミ・メディア部門の責任は大きい。

めざす姿・方向性 キーワード「幸せ」

- ・ 高齢者が歩いて買い物ができるような道とショッピングセンター(歩いて=車以外の交通手段)。
- ・ 病気になった時、安心してかかれる病院がほしい。
- ・ 地域の人々との関係・親しみがある。(喧嘩等がない)
- ・ 若い世代が将来に希望を持てるような社会が必要だ。そうなる様に、行政・教育機関・企業・地域など全てが努力・協力する姿勢が大事。
- ・ 犯罪のない町、公衆道徳の行き渡った町。

めざす姿・方向性 キーワード「連携」

- ・ 地域や市が、どんな体制か、何をやりたいのか、やろうとしているのか分かりにくい。例えば、地域は月1～2回の回覧板でしか見えてこない。長年豊明に住んでいても若者には分かりにくい。
- ・ 一部地域の役員だけが動いている感じあり。新しく豊明に来た人たちはなおさら分からないのでは?
- ・ 若い母親達が安心して仕事に就く事が出来るように保育サービスを更に充実させる事を望む。労働力不足や少子化防止には是非必要な事だと思う。国の将来を考えると早急に取り組むべきです。

めざす姿・方向性 キーワード「平等」

- ・ 地域の活動に男女だけでなく、20代・30代の若者の参加を呼びかけるべき。
- ・ 人は男子でも女子でもなく、人間として平等の権利を持つところであるが、互いの役割が平等に扱われることが必然的に出来ている。
- ・ 社会全体が大きく意識を変えないと、真の男女平等は難しい。基本的には学校及び家庭において良く教えることだと思う。
- ・ 変な平等はいらない。まじめでがんばっている人や子が平等であるように。

【問2】「めざす姿・方向性(キーワード)」の優先度

『上記以外に、追記すべき「めざす姿・方向性(キーワード)」として適切だと思うものを、以下にご記入下さい。』

- ・ 自己啓発・勤勉。
- ・ 人間としての特性を生かしたまち。日本特有文化を。
- ・ 男女平等を協調しすぎる！
- ・ 男女平等といっても、男性にも女性にも、女性の健康支援は載っていたが、男性はない！限度があります。今回あまりにも強調しすぎです。
- ・ 差別。
- ・ 道徳。理由：人としての最低限のルールを守った上で、いろいろなことができると思う。
- ・ 思いやり：誰もが全ての人を大切に思う思いやりのまち。
- ・ 優先する・しないではなく、できる(可能な)ことから取り組んだ方がよいと思う。
- ・ 対話。井戸端会議的な場が多くでき、皆が積極的に参加する姿勢を持つ社会になる事が理想。
- ・ 愛。
- ・ 平等。
- ・ 男女平等だけではない。個人に障害があっても平等。
- ・ 自覚。

【問4】 7.何かご意見などがございましたら、どんなことでも結構ですので自由にご記入ください。

- ・ 男女差別がないということは、男女のお互いの特徴をよく知ることであると思う。
- ・ ジェンダーという言葉が一人歩きすることを懸念する。
- ・ 日常では女性を徹底的に差別する人々がいる一方、行政や市民活動でジェンダーを振りかざし、過大な権利を主張する人々もいる。
- ・ 性差を積極的に認めながら、バランスの取れたジェンダー感覚を持って、行政を進めて欲しいと望む。
- ・ 未婚で自分自身子どもはいませんが、仕事(保育士)がら、子育てをしている夫婦を身近で見えています。女性が母性を発揮するためには男性(父親)の支えが必要です。
- ・ 地域や学校以前に家庭内の子育て。子育ての環境がきちんと作られることが大切だと考えます。
- ・ 子どもたちの未来が明るいものでありますように!!

- ・ 男女だけでなく、あらゆる世代が地域に参加できるような仕組みや取り組みが必要。
- ・ 働く場所があることが男女共同参画社会にとっては大切だと思います。働く場所は、豊明市内でなくて隣接するまちにあっても良い。ただし、通勤しやすい手段が必要。
- ・ 隣接する町(緑区、刈谷市など)とは、壁を取り払ってつながりを強化した方がよい。
- ・ 関係ありませんが、豊小だけが、中学校が分かれるのはおかしいと思います。豊中に行く子が少なく、不登校になったりしている子もいます。子どもたちにとっては大きな問題です。(昔から)地域区分は分かれますが、改善すべき(大きな)問題だと思います。
- ・ 町内会の役割を減らして欲しいです。
- ・ 弱者に対してやさしい生活ができるまちづくりをお願いします。
- ・ 税金を上手に使ってください。
- ・ 豊明市は、交通の便においてはとても便利だと思いますが、税金面においては、他の市に比べてまだまだ高く、見直していかなければならないと思います。
- ・ 12~17ページ生活問題は、皆重要なことであるので、記載例のように差を付けることは困難で、結局「5. 重要である」に 印を付けました。
- ・ 現在の学童の在り方を考え直すべき。同居であるがため預けられないのはおかしいのでは？寝たきりお年寄りを介護しているお宅もあるはず。離婚しているので、実家に住んで同居しているお宅が預けられるのはおかしいです。見直すべき。夏休みなどで始まるの時刻が9時からなのも見直すべき。
- ・ 豊明には、大府のような公園やプールなどの施設がなさ過ぎ。
- ・ 子どものことを考えるなら、税金をもっと有効に使ってください。
- ・ 男女共同参画が推進されていますが、それはそれで良いと思います。ただ女の人がかんばりすぎて、自分たちの努力してなしえることと、他人(地域・公的機関)がやってくれることを混同してしまい、義務を忘れ、権利ばかり主張する現代社会の悪い点もみられるので、そのところをもう一度考えていただきたいと思います。
- ・ 男女にはそれぞれ生まれて来て役割分担を持つと得ることがあり、人間としての直の尊厳により社会参加が可能となる。
- ・ 子ども達が安心して遊べる場所が少ないので、誰もが自由で安心して遊べる場所をもっともっとたくさん作ってほしいです。
- ・ 権利・平等思想が先行すると、自己中心の人が多くなりギスギスした世の中になります。「我が身を抓って人の痛さを知れ」と言うような基礎的な道徳教育こそ大切です。
- ・ 男女平等ということをはいるが、女性のことはたくさん書いてあるのに、男性のことがほとんど書かれていないのが気になった。女性を守る法律は増えているのに男性を守る法律が減っている気がする。女性のことを考えてくれるのは嬉しいが、男性にとってはやさしくない世の中になっていると思う。これが本当に男女平等なのだろうか疑問に思う。
- ・ 男女の前に日本人と在住の外国人の共同参画社会を考えるべきだと思う。豊明も最近、外国人をよく見かけるようになった。日本の文化をしっかり教えるべき。
- ・ 学校のクラスを1クラス30人にするといいです。そうすれば1人1人に対する教育も充実でき、先生と生徒も触れ合えるし、教師の負担も減り、良いと思います。
- ・ 答える項目が多かったです。これを生かしてよりよい豊明市にしていきましょう。
- ・ アンケートを通じて、男女平等・子育てについて、まずは社会でどうだかする前に、市民がいろいろ考えるべきだと思う。

- ・ アンケートは、社会が、一人一人が、とあいまいな様な気がします。私は、子育てであれば社会でもささえる事が必要ですが、まずは家族で育てていく事が第一では？社会や学校で教育する。支えるというよりもまずは家族で協力しあう事が大切では？家でできない事を社会や学校で、というのは違う気がします。社会だけでは子育ても男女平等も無理と思う。地域に参加したいと思えるまちにしてください。
- ・ 市民の考えをアンケートにするよりも、豊明市の道路整備をしてほしい。
- ・ 社会が、というよりは、住みやすく誰もが住みたくするような生活環境にしてほしい。まず環境が整ってから社会を考えてもよいのではないのでしょうか？市がもっと住民に喜んでもらえるまちにするために考えてほしい。今のままでは名古屋に住民が移動してしまうのでは？もっと福祉や介護、高齢者に優しいまちにしてほしい。ムダなお金を使うならそちらに使ってほしい。
- ・ 個人的に先日市役所に行きましたが、対応が悪かった。お昼(12時すこし前)だったからなのか「面倒」という態度が見え見えでした。職員対応を徹底してほしい。
- ・ 男女共同参画のプランの中で女性の家庭内の仕事に対する認識を問う項目があるのに、職業の項目の中に「主婦」という項目は設けられていないのは違和感がありました。
- ・ 男の人の健康支援は？これから女性を、奥さんを、母親を息子一人で看病するといった方も出てきますよね!!!
- ・ 女性が安心して子どもを産み、子どもを育てながらも安心して仕事を続けられる街であって欲しいです。
- ・ 夫の協力、会社の協力、地域の協力、若い人たちよりも先に生まれた人たちの協力がなければ、若い人たちは社会の宝物の子どもたちを産み、育ててはくれません。
- ・ 他の地域の友達から「豊明は危ない、怖い」と言われます。事件などがあったからだと思いますが、残念です。
- ・ 豊明の市議会議員の方々も男女平等ですか。そこが平等でない限り通るものも通らない!!!男性の方がやはり権力があるらしいから。
- ・ 子どもに関して、小学校低学年の帰宅時についてもう少し考えて欲しい。
- ・ 高齢者に関して。入院するほど健康を害していないのに、家庭内に引きこもっている高齢者を外へ出すようなイベントを考えて欲しい。
- ・ 仕事について。男女平等を実現できるような環境を考えて欲しい。
- ・ 男女平等と、男女の違いを知ることと分けて考えることが必要。脳の作り、肉体の違い、適正など男と女は違うということは事実。
- ・ 男女平等というより男女差別をなくして欲しい。しかし、男女の区別はしっかりして欲しい。
- ・ 市内に公立の病院がほしい。
- ・ 健康に対する無料講座がたくさん出て来て生活にはりが出て来ていると思いで喜んでいて。人口も段々多くなり活性化される豊明市になればと望みます。
- ・ 豊明は住みづらい街です。無駄な道路・建物が多し、料金も高いです。もっと市バス・地下鉄等、公共機関を利用できるようにお願いしたいです。地域ぐるみの活動も多くて負担になっています。もっと、自由で開放的な街になって欲しいです。
- ・ 必死で生きているだけ、このようなことは判らない。
- ・ 男女平等は判りました。けど、男女だけでなく障害者などの差別をなくすことも必要だと思う。五体満足な私達だけが好きな町じゃなく、市民全員が住みやすく、生き生きしている町が良いと思います。
- ・ 人としてのルール・モラルを大切に考えた子どもを育てるのは大切だと思う。そしたら、犯罪は減ると思う。よりよい町づくりにもなると思う。

- ・ 豊明市全体で街灯が少ない。もっと街灯を増やして、女性でも、子どもでも安心して歩ける街にしてほしい。男女共同も大事だが、犯罪のない街を目指したい。子どもを守るのは大人。
- ・ 豊明市は福祉も充実していると思いますが、高齢者が多い(これから多くなる)ので、もっとケアハウスを増やして欲しいです(金額的に年金で暮らせる範囲内で)。
- ・ 平成10年に策定されたプランなら8年経った今現在、具体的にどこまで実現されてきたのを知りたい。
- ・ アンケート協力者に、アンケート結果報告及びそれがどのように男女共同参画プラン改訂に反映されたかの報告はされるのでしょうか。最低限の義務かと思しますので、ご検討よろしくお願い致します。同時に市民をプランづくりに巻き込んだり、意識を向上するためのよい策になると思われます。全体的に協力依頼にあたって情報不足。どのような予定(スケジュール)で今後すすめられていくのか等。アンケートだけで終らせない様に！
- ・ 多様な問題をかかえた日本社会の中で、安心してらせる豊明市であって欲しいものです。社会の基本単位は 家庭 です、幸せな家庭が多くなるほどまちは安定します、家庭の安定は父親・母親が各々の役割をきちんと果たして支え合う事から生まれます。平等をたてにして個人が好き勝手な生活をする事が良い様な印象を与えない様に、男女共同参画事業にかかわる人は気をつけて下さい。又、学校での男女名簿混合や、保健体育授業の男女合同等は絶対にやめて下さい。ジェンダーフリーの考え方は子ども達の将来の健全な家庭観を壊し、増々の少子化を招きます。家族をバラバラにしない共同参画事業をお願い致します。がんばって下さい。
- ・ 昔から住んでいる住人が町内の役をやるのが多い町内ですが、だんだん高齢になり、若干のまだ働きざかりで帰りも遅いものがやる様な状態で何十年も前から家を買って入ってきている人達にはなかなか選挙をやってもおちないのでそういう所の改善がなかなか出来なく困っています。行政の方からも適切な指導があればもっと積極的に新住民も参加する町内になるのでは…。
- ・ 多くの人々は自分のことは自分でやるようになってきましたが、災害などあれば「国が県が市が町が村が何もしてくれない！」とブツブツ、メディアも多く取り上げます。体が元気ならば自分で自分の出来る事をやるべきだと思います！豊明に30年住んで感じた事です。自分の事は体が元気なら自分で、それでもダメなら町・村・市・県・国、へまずは自分を自分で守る事から…若い人が少なくなっています。私も自分を守りながら生きていきたいと思ひます。
- ・ 女性に限定せずに、男女共に子育てと仕事が両立できるようにすることが大切だと思います。会社が子育てをしている人に対して理解をしなければならぬと思ひます。
- ・ 児童館(18時まで)、保育園(19時まで)と終業時間があまりにも早すぎる。仕事を持って育児をしていく者にとって、最低でも19時までの終業時間を望む。
- ・ 保育園がフルタイム勤務者に優しくないと思う。早朝・延長を抜く時間帯だけで働ける人は珍しい。市内勤務で残業が一切ゼロでないと利用できない。
- ・ 多くの方からの意見を参考にして、よりよい町づくりをよろしくお願い致します。
- ・ 主人は定年退職し、わたしは長年パートで働いています。時代は変わり、60歳を過ぎても現在のところで4時間パートで働いています。健康で働ける日が一日でも長くと思って喜んで働いています。
- ・ 男女共同参画の具体的な問題点とその対策案が表現できるアンケートにしないと内容が理解できない。
- ・ 男女共同参画について分かりやすく説明して欲しい。
- ・ 緑多い豊明の街に、住みよい街になりたいね。
- ・ 夏祭りのとき豊明市は、盆踊りを婦人会などのおばさんたちが、ユカタを着ているだけで、ごく普通なことばかり!!他の町を車で通りかかったら、若者がたくさん集まって、今風の踊りを楽しんでいました。街全体

が若々しく感じました。もっと若者が参加できる豊明市になるといいと思いました。

- ・ 豊明村に永住を選び四十数年、今は亡き地元の人の中に「感謝」子どもに伝えております。
- ・ 「義務」の明確化とその誠実な履行が権利主張に伴うことを、機会あるごとに徹底することが必要と考えます。
- ・ 女性をもっと市・村とかの役職(市長、区長、市会議員、いろいろの役職)をできるようにして欲しい。何も男性に限ることはなくてよい。
- ・ お父さん、お母さんが5時に退社ができ、子どもを育てたりするゆとりがあれば、お互いが楽になると思います。
- ・ 社会全体の働く時間を考え直し、家庭を守り、社会を守れと思います。
- ・ 子どもも家庭生活も女性に押しつけ、男性は働き過ぎです。お父さんが夕食を家族と一緒に食べてこそこの家庭です。女性も働きたかった!!
- ・ 生活していく上で、男女が協力してやっていく、それに越したことはないですが、環境も大事だと思います。
- ・ 窓を開けたら、前は駐車場、工場、高いマンションの壁では生活していく上にあまりにも緑がなく、ストレスもたまります。最近は高層マンション、ビルが増え始めている中、高さの規定がないと、今まであった緑が、ビル、駐車場、工場に変貌していく。よい環境の中で住むということは、人の心も和やかにしてくれるものです。豊明市も今は緑が多いかも知れませんが、今からきちっとした規約・規定を作っておかないと、そのうちに緑も少なくなり、住みにくい町になってしまうのでは。
- ・ 女性で働きたい人、働かなくてはいけない人、子どものいない人、いろいろな人がいるが、子どもを産むことは女性しかできない。その素晴らしい体験をして子育てにかかわることは、本来は自分の子は自分で育て(親として)仕事場での代替りの人はできるが、自分の子どもの母親は自分一人だけで代替りはないという気持が大事だと思う。できるなら人任せにせず、世の中で一人前に自立するまでの育成には母親の力は大だと思う(それは働きながらでもできると思う)。父親は、家族の長として毅然とした態度でないと、子どもの反抗期などに難しいと思う。
- ・ 男女お互い認め合いながら平等でないときもあるけれど、自分のできないことを男性がしてくれれば、それは違うことを認めることになる。
- ・ 市役所の市民に対する態度をもう少し優しい言葉で(一部です)お願いします。一部仕事をしているのかどうかという方も見受けれます。働いている方の人数が多い気がします。
- ・ 世界の中でかつて日本は見本的に見られていたが、今の状況では逆に反面教師的存在になっている。将来を考えると悲観的になってしまう。行政はもっと教育面に力を入れるべき。そうしないと日本は衰退の道を辿り、世界から取り残されるでしょう。全ての基本は教育にあり。
- ・ 豊明市に移住し32年、今後も地域の支えあいに関わり、市民一人一人が生き活きと暮せることへの実現と、近隣地域から豊明市は性別や世代を超えて豊かで暮らしやすい町づくりに取り組んでいると評価されることを切に望みます。
- ・ NHKの番組で、給食費が払えるのに払わない親が多いということを放送していた。
- ・ 人は、社会で協力し合って生活をしているのに、人々に公衆道徳がなくなっているのを感じた。小学生までの子どもに学校で道徳を教えても、親に道徳がなければ、親の教えの方が勝ってしまう。それでは、若い親を教育すればいいのか？もし、市が若い親のための教育講座を開いても、公衆道徳のある人が出席して、ない人は出てこない。どうしたらよいのかいろいろ考えたら、団塊の世代の退職後、ボランティアのかたちでうまく利用したらよいのではないかと思えた。豊明市としてノーマライゼーションを推し進める。

特に団塊の世代なら、老いて自分が助けられる日が来るのが現実のものとして感じられるので、多くの人がボランティアに参加できる方法を考える。この団塊の世代の意識が変われば、これが孫への教育（そんな大それたことではないが）にいい影響を与えらると思う。最後に、40歳代以下は男女平等教育で男女差の考えはあんまりないのだよなえ！

- ・ 豊明市には「子どもの家」「高齢者憩いの家」があり、一面結構なことですが、他方子ども・成人・高齢者の活動を分離・断絶することになります。
- ・ わたしは、囲碁の普及に微力を注いでいますが、囲碁は子どもも高齢者もない。
- ・ 高齢者ゾーン「福祉体育館」も高齢者は使用できるが、壮年～子どもは入れない。もったいないことだ。
- ・ 母親が働いて子どもを育てるということは、大変なことだ。
- ・ 一人の人間として大きくすることは、社会・個人とも支えなければできないと思いますが、子どもを産んでお金で助けられることよりも何かほかのよき手だてがいいと。日本は伝統のある国なのにその親、大人たちが何も伝えられなくなるのは心配です。
- ・ 男女平等についての質問が多いが、現に男女間の違いはあると思う。
- ・ まず、人間として自分でできることは自発的・積極的に行い、足りない分を補い合う。
- ・ 男女間にしてもしかり。それぞれの特性を活かしつつ、親子・男女・強者と弱者、すべての人が協力して助け合う社会が理想である。
- ・ 策定の実現をよろしく願います。
- ・ 長男夫婦とは別居。主人の母を引き取り介護中。
- ・ 性差による不当な差別はいけません、区別は必要です。
- ・ すべてを平等にすることは、難しいかも知れませんが、お互いの範囲内で無理なく幸せに暮らせればと思います。
- ・ 基本的には男女平等がよいという考えに否定的ではありません。しかし、男性でなければどうしてもできないことがありますし、女性でなければ無理ということも多々あるとわたしは思いますので、平等という権利を強調したくはありません。
- ・ 夫婦の場合、お互いに尊重し合いながら、やはり夫である男性を中心に、妻である女性が足りないところを補うのがベターだと思います。そんな考えで を付けました。
- ・ 共働きしやすい環境であれば、子どもをもう一人くらい欲しいと思うことがよくあります。
- ・ 男女共同参画というと、主に女性支援の方に話が行きがちですが、本当に必要なのは男性への支援だと思います。家庭もしくは地域のことをもっと行いたいと思う男性も数多くいるはず。そのための支援の施策をお願いします。
- ・ 「計画体系、市における男女共同参画の促進」では、内容が貧弱、抽象的すぎると思います。研修も必要ですが、具体的施策こそが必要だと思います。
- ・ 男女共同参画もいいのですが、取り違えると逆に生きにくくなることも多いと思います。
- ・ 男性が女性と、女性が男性と変わらないことも多いはずなので、「平等」ということばかりが先行することは、非常に恐ろしいと思います。

アンケート項目についてのご意見

- ・ アンケートの文章は、誰でも分かる言葉を使って書いてください。聞き慣れていない言葉で質問をされても返答ができません。特に、日本語以外の言葉は、説明を加えたりした方がよいと思いました。誰もが分

かる言葉とは限りません。

- ・ 本アンケートは、女性ばかりが地域に参画しているのに評価されていないというのが、アンケート結果から導き出していこうというのがありありと分かる面が一部ある。
- ・ このアンケート似たような項目が多くて分かりづらいです。
- ・ マークシートにするべきでは？
- ・ 内容が答えにくい質問が多い。(自分に当てはまらないなど)
- ・ 返信用封筒が小さくはないですか？
- ・ アンケートの項目が多すぎます。まじめに回答しようとするとかなりエネルギーが必要です。これで市民の意向が正確に反映されるのでしょうか。いいかげんな回答になりはしないか心配です。
- ・ このアンケートは男女平等ではない!!!ページを見ているうちになんかすごく腹が立ってきた。
- ・ 今、そして今度のため本当に考えてない。こんなくだらないアンケートなら、二度と送ってくれるな！
- ・ アンケート調査の内容が理解できないところがある。
- ・ アンケートの問題が多すぎて、抽象的で非常に分かりづらいです。
- ・ アンケート内容が(言葉)不明確な部分が多く、意味不明。アンケートとして不適切、抽象的な表現が多く、再度アンケート実施すべし。判りやすい言葉を使うべし！
- ・ これ、NPO一つ一つのトピックがあいまいすぎね？これ、200CNにアンケートして集計すれば、何かしら方向性がみえるのかね？人は理念のみにて生きるにあらず。たぶんこれで素敵なお題目は出来るんだらうけど、そのお題目をいかにOUTPUTして政策、施行にもっていくのか？それがいちばん重要でしょう。その二つの間に千里の隔たりがありそうな気がするのは僕だけですかね。
- ・ 質問項目が多すぎる。質問が判りにくい部分があった。
- ・ あまり質問が多すぎて疲れしました。
- ・ ジェンダーバランスとか横文字の意味がよく判らん。専門用語は使わないでほしい。もし使うのであれば説明も付け加えるべきだと思う。10代でも高齢者にもよく判るような設問であるべきだと思う。
- ・ 質問が抽象的で判りづらかった。もう少し判りやすい言葉で質問して頂きたいと思います。70才以上の高齢者には難しすぎます。
- ・ 一応お答えしましたが、大変むづかしい選択で、迷いが多く適切とは思われません。悪しからず。
- ・ アンケートの内容があまり分かりづらい。
- ・ どの項目も、大切な事だと思しますので、5つ選ぶというのは大変でした。
- ・ 正直、とても答えにくいアンケートでした。もう少し理解しやすく、答えやすいアンケートの方が、解答率がいいように思います。質問からしてとても判断しづらかったです。これによる集計で何かの方向性を決めるのであれば、あまりにもアバウトすぎるアンケートであると思います。サンプルを絞って質問をもっと具体的にすればいいのではと思いました。
- ・ もっと分かりやすい文章にすること。(例:ジェンダーバランス)
- ・ 目的についてはよく分かります。わたしたちの頭では、これだと掴み所が分かりにくい。80歳に手が届くわたしたちだと分からないのか？
- ・ 問題、語句がこれで普通の人なら判断できるのか。
- ・ アンケートというものは、誰が見ても返答できるのが普通だと思う。
- ・ 何日考えてみても納得のいく判断が得られないので、このまま返送させていただきます。誠に残念です。
- ・ 質問事項に答えにくいものが多いし、似たような質問ばかりでもう少しわかりやすく簡素化していないと答える人はいやになる。(30分ぐらいかかったので)

- ・ アンケートの項目が多すぎて、答える気が無くなる。もっと的確な方法は無いのか。
- ・ 43才女性名でアンケートをいただきましたが、意思表示が出来ない障害者ですので代回答をしました。
- ・ 1. 調査項目が多すぎる。2. 類似した選択肢があり判断に迷う、また、表現が適切でないところがある。3. 回答者に負担をかけないよう、調査設計の段階から検討が必要である。
- ・ 項目が多くて質問に対して真剣に答える事ができない事があった。
- ・ 項目が多過ぎて戸惑うところがあります、必要最小限にとどめる調査を願いたい。
- ・ 今回のアンケートは大変にわかりにくく答えられませんでした。いままでにこのようなアンケートに出会ったことは有りません。
- ・ アンケートの量が多いので、適当な 付けなっていました。
- ・ 難しい質問が多い。もっと楽しくできるアンケートがいいと思いますが。
- ・ 質問の内容が現実味のない言葉なので、少し感えます。内容は、すべて大切なことで、5つといわれても難しいです。
- ・ このアンケートの設問を考えたスタッフの能力を疑う。実につまらない設問内容だ。君たちは何を考えているのか。もっと勉強していくことを望む。途中でヤメ！ 正論ばかりで判断がしにくい。
- ・ どの事柄も重要と感じ、選択が非常に難しかった。
- ・ どれひとつをとってもたいへん重要な案件ばかりで、5つ選ぶのに悩みました。もう少し悩まなくてもいいアンケート方式にしていきたいと思います。
- ・ アンケートの内容で質問と選択肢が合っていない気がして答えつらかった。意味の分からないところもあった。
- ・ アンケートが難しすぎて分かりませんでした。
- ・ アンケートにはまじめに答えたが、これが市政に役立つとはどうも思えない。「とよあけ男女共同参画プラン」の存在自体知りませんでした。(在住20年ですけど)NPOさんに文句を言っても仕方ありませんが、こんなアンケートごとき委託に出さず、市でとりまとめてほしい。税金の無駄。一体いくらで請け負ったのですか、やはり市民税払う気おきません。
- ・ 質問がわかりにくい(抽象的すぎてイメージしにくい) 選択肢が選びにくい(必ず5つ選びたいものがあるとは限らない)時間がかかって面倒くさかった。アンケートに回答したら図書券でもでたら少しはやる気が出ます。
- ・ 実現するのに大変な項目ばかり。あまり具体的ではなく、何をどう実現してゆくかわからないまま答えるしかない。



男女がお互いの人権を尊重し、個性と能力を十分に発揮できる社会をめざす

「とよあけ男女共同参画プラン」づくりのための 【アンケート用紙】

アンケートの目的

このアンケート調査は、これからの豊明市が、男女がお互いの人権を尊重し、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現に向けて、「めざす姿・方向性」と、重点的に取り組むべき「生活課題」について、市民の皆様のご意見をお聞きし、その結果に基づいて、豊明市男女共同参画プランの骨子を作成するために実施するものです。

アンケートの対象者

このアンケート調査では、市民の皆様のご意見をできるだけ幅広くお聞きするために、豊明市の住民基本台帳および外国人登録名簿から16歳以上の市民2,000名(平成18年8月9日現在)をくじ引き方式(無作為抽出)で選ばせていただきました。

ご記入にあたって

このアンケートには、アンケート用紙をお送りした封筒に書かれた宛て名のご本人がお答えください。ただし、ご本人がお答えいただけない場合は、ご家族のどなたかがお答えいただきますようお願いいたします。

このアンケートは、無記名でお答えください。

調査結果はすべてまとめて集計し、個々の回答や個人情報・プライバシーに関わる情報が公表されることはありません。率直なご意見をお寄せください。

ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、

9月1日(金)までにポストに投函してください。(切手は不要です)

このアンケートについてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

豊明市 市民協働課 市民種別推進係(直通 0562-92-8306)

このアンケートは、豊明市より委託を受け、特定非営利活動法人市民フォーラム21・NPOセンターが実施しております。



アンケートの目次

- ・問1 「めざす姿・方向性」を実現するうえでの生活課題の重要度..... p1～p10
- ・問2 「めざす姿・方向性(キーワード)」の優先度..... p11
- ・問3 それぞれの項目(生活課題)」の重要度..... p12～p17
- ・問4 最後に、あなた自身についておたずねします(属性)..... p18

記入方法

↓
5つを選んで
問1 (1～10ページ)

生活課題	【問1】
	5つ選んで
男女ともに、仕事・子育て・地域活動のバランスをとることができている	
地域の伝統を男性・女性が互いに支えあいながら守っている	
名目と実働が合致した形で、男性も女性も地域活動に参加している	
団塊の世代が退職後、地域においてスムーズに社会参加できる	
街づくり活動の中で、若い世代が活気にあふれて関わっている	
地縁団体のメンバーに男女や世代の偏りがない	

↓
それぞれ1つに
問3 (12～17ページ)

【問3】				
5	4	3	2	1
重要である	ある やや重要で しえない	どちらでも いい	あまり重要 ではない	重要でない
5	4	3	2	1
5	4	3	2	1
5	4	3	2	1
5	4	3	2	1
5	4	3	2	1
5	4	3	2	1

アンケート中、**繰り返し同じ「生活課題」が出てきますが**、一つの「生活課題」が複数の「目指す姿・方向性」を実現するために必要な場合があるためです。大変わずらわしいと思いますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

参考

「めざす姿・方向性(キーワード)」とは何？

これまでに市民の皆様から「男女共同参画について、豊明市に暮らして日頃抱いている生活実感」をお聞かせいただきました。それらのご意見を「どういう方向性で、男女共同参画が実現する地域の姿を描こうとしている意見か」という視点でまとめたところ、以下のキーワードで表現される10個の「めざす姿・方向性」が浮かび上がりました。これが市民の皆様が一番大きな願いとなる「豊明市における男女共同参画社会の実現」につながる「キーワード」です。

「支えあい」 「選択」 「自由」 「育む」 「能力」 「自立」 「尊重」
「幸せ」 「連携」 「平等」

「生活課題」とは何？

市民の皆様生活実感を「こうあってほしい」「こうありたい」という状態の表現にしたものです。豊明市における政策や活動のニーズ(必要なもの)として、「目指す姿・方向性」ごとに整理されています。

【問1】 「めざす姿・方向性」を実現するうえでの「生活課題」の重要度

1ページから10ページの10個の「めざす姿・方向性」を実現させるための「生活課題」をまとめました。それぞれの「めざす姿・方向性」を実現するために、重要あるいは重点的に取り組んだほうがいいと思われる「生活課題」を5つ選んで、表の右側の欄に をつけてください。

めざす姿・方向性 キーワード 『支えあい』

～男性、女性ということではなく、地域でお年寄りも若者もお互いに支えあっているまち～

「男性、女性ということではなく、地域でお年寄りも若者もお互いに支えあっているまち」を実現するために、重要あるいは重点的に取り組んだ方がいいと思われる項目（生活課題）を5つ選んで、右側の欄に をつけてください。

分野	生活課題	5つ選んで
広教育・	1．以前から豊明に住む人と、新しく住み始めた人との線引きがなくなる	
共 け 家 同 参 庭 画 男 に 画 女 お	2．子どもの頃から、男女に関係なく平等に、人としての多様性を認める雰囲気が醸成されている	
地域 にお ける 男 女 共 同 参 画	3．男女ともに、仕事・子育て・地域活動のバランスをとることができている	
	4．地域の伝統を男性・女性が互いに支えあいながら守っている	
	5．まちづくり活動の中で、若い世代が活気にあふれて関わっている	
	6．地縁団体のメンバーに男女や世代の偏りがない	
	7．災害時に女性が守られるような対策がとられている	
	8．地域において、伝統的な性別役割分担が解消されている	
	9．子どもが育ち学ぶ過程で、世代を超えた地域の交流がある	
	10．男性・女性が、それぞれの力を発揮して防災に取り組んでいる	
	11．孤立感を抱くことなく、健康なときも、病気のときも地域で子育てが支えあわれている	
	12．男女平等意識を持った人が、まちづくりのリーダーとなっている	
13．地域で子育てを支えあうための土台としての信頼関係が、地域で築かれている		
画 女 つ 男 共 同 の 参 男 と	14．名目と実働が合致した形で、男性も女性も地域活動に参加している	
	15．団塊の世代が退職後、地域においてスムーズに社会参加できる	
	16．男性が家庭や地域にかかわっている	
上記以外に、「男性、女性ということではなく、地域でお年寄りも若者もお互いに支えあっているまち」を実現するために、特に重要だと思う項目がありましたら、具体的に記入してください。また、お書き頂いた項目も含めて、このページ全体で最も重要だと思う項目として5番目までに入る場合、右側の欄に 印をつけてください。		
活 べ 追 課 き 加 題 生 生		

めざす姿・方向性 キーワード 『選択』

～ 男性、女性という社会的性差にとらわれず、選択ができるまち～

「男性、女性という社会的性差にとらわれず、選択ができるまち」を実現するために、重要あるいは重点的に取り組んだ方がいいと思われる項目（生活課題）を5つ選んで、右側の欄につけてください。

分野	生活課題	5つ選んで
広報・教育	1. 勉強ばかりではなく、子どもの得意なところや長所を伸ばせられるよう、子育てがされている	
女共同参画 家庭における男	2. 子育てで最もお金がかかるときに、支えられる仕組みがある	
	3. どんな家庭環境にいても、子どもが自らの希望通りに生きていくことができる	
	4. 子どもが、いきいきと働く母親の姿を見ることができる	
	5. 人としての適性によって、家庭内の分担がされている	
参画する男女平等 職場における男女平等	6. 女性が自らの能力をありのままに発揮することができる	
	7. 好きな職業を、誰もが選ぶことができる	
	8. 子どもの成長過程に合わせて働き方を選択できる	
の推進と評価 あらゆる分野における男女共同参画	9. 男性、女性ともに自由にやりたいことを選択できる	
	10. 選びたいことが選べる世の中になっている	
	11. 誰もがスポーツを楽しむことができる	
	12. 社会的な制約を受けることなく、自らの責任のもと選択できる	
健康支援 女性の	13. 既婚・未婚、子どもの有無等に関係なく、個々のキャリアを選択することができる	
	14. 介護を受けるときに、「恥ずかしい」という意識を持たなくてよい	
上記以外に、「男性、女性という社会的性差にとらわれず、選択ができるまち」を実現するために、特に重要だと思う項目がありましたら、具体的に記入してください。また、お書き頂いた項目も含めて、このページ全体で最も重要だと思う項目として5番目までに入る場合、右側の欄に 印をつけてください。		
追加すべき生活課題		

めざす姿・方向性

キーワード『自由』

～男性、女性という社会的性差がなく、自由に生きることができるまち～

「男性、女性という社会的性差がなく、自由に生きることができるまち」を実現するために、重要あるいは重点的に取り組んだ方がいいと思われる項目（生活課題）を5つ選んで、右側の欄に をつけてください。

分野	生活課題	5つ選んで
地域における男女の共同参加	1. 定年を迎えても、ひとりぼっちのような感覚を抱いていない	
職場における男女平等参加	2. 就労形態や時間を補完しあうことにより、柔軟に働くことができる	
	3. 一度退職しても、男女の区別がなく、再就職にチャレンジできる	
	4. 子どもの年齢に関わらず、子育てをしながら、不安なく仕事が続けられる	
	5. 仕事(生活費)を得ることができ、子どもを作ることができる	
	6. 休みが取りにくい・帰宅しづらいといった雰囲気が職場にない	
男性に対する男女共同参加	7. 男性が育児休暇を取得しても、不利益を被らない	
あらゆる分野における男女共同参加の推進と評価	8. (生物学的ではなく)社会的な男女の役割意識に対する固定概念がなくなっている	
	9. 社会的な制約を受けることなく、自らの責任のもと選択できる	
	10. あらゆる分野で男女の区別なくいきいきと活躍している	
女性の健康支援	11. 配偶者や恋愛相手からの身体や言葉あるいは無視といった形での精神的苦痛を受けていない	
	12. 出産経験の有無が、人としての何らかの評価や判断に結びついていない	
	13. 介護の負担を女性一人が抱え込まないですんでいる	
	14. 子どもがほしくても出来ない人の存在(や気持ち)が広く認知されている	
	15. 妊娠や出産など、生涯を通じて性と生殖に関して、個人が責任をもって自由に選択することができる	
上記以外に、「男性、女性という社会的性差がなく、自由に生きることができるまち」を実現するために、特に重要だと思う項目がありましたら、具体的に記入してください。また、お書き頂いた項目も含めて、このページ全体で最も重要だと思う項目として5番目までに入る場合、右側の欄に印をつけてください。		
追加生活課題		

めざす姿・方向性

キーワード『育む』

～未来からの使者であるこどもを育むまち～

「未来からの使者であるこどもを育むまち」を実現するために、重要あるいは重点的に取り組んだ方がいいと思われる項目（生活課題）を5つ選んで、右側の欄に印をつけてください。

分野	生活課題	5つ選んで
教育・広報	1. 勉強ばかりではなく、子どもの得意なところや長所を伸ばせられるよう、子育てがされている	
	2. 子どもが差別をしない・されない環境の中で育っている	
	3. 親だけでなく、地域も学校も子どもを育てる意識を持っている	
	4. 子どもが小さいときから、自分の身の回りのことができるように教えている	
	5. 教育の現場で、男女の役割を固定化させてしまう発想がなくなっている	
男女共同参画 家庭における	6. 子どもの頃から、男女に関係なく平等に、人としての多様性を認める雰囲気醸成されている	
	7. 家庭内の子育て・子育ての環境がきちんと作られている	
	8. 親が、子どもの自発性や自立を尊重している	
男女共同参画 地域における	9. 子どもが育ち学ぶ過程で、世代を超えた地域の交流がある	
	10. 孤立感を抱くことなく、健康なときも、病気の時も地域で子育てが支えあわれている	
	11. 子育てが社会の責任であることが社会全体で認識されている	
	12. 地域で、顔見知りの方が、子どもの日常を見守ってくれる	
男女共同参画 職場における	13. 企業が子育てをする（したい）スタッフにやさしい取り組みをしている	
	14. 保育サービスが柔軟かつ多様(多機能)にあり、子どもを預けやすい	
男女共同参画 男性と女性と	15. 父親が、積極的に子育てにかかわっている	
上記以外に、「未来からの使者であるこどもを育むまち」を実現するために、特に重要だと思う項目がありましたら、具体的に記入してください。また、お書き頂いた項目も含めて、このページ全体で最も重要だと思う項目として5番目までに入る場合、右側の欄に印をつけてください。		
追加すべき生活課題		

めざす姿・方向性

キーワード『能力』

～個人の能力が活かされるまち～

「個人の能力が活かされるまち」を実現するために、重要あるいは重点的に取り組んだ方がいいと思われる項目（生活課題）を5つ選んで、右側の欄に をつけてください。

分野	生活課題	5つ選んで
教育・広報	1. まず人としてどうあるべきかという道徳が学校で教えられている	
	2. 男女としてではなく、人として、自然に支えあえる関係ができています	
	3. 地域活動やPTA活動において、役割が性別によって固定化されていない	
家庭における男女共同参画	4. 子どもが、いきいきと働く母親の姿を見ることができる	
	5. 人としての適性によって、家庭内の分担がされている	
地域における男女共同参画	6. 組織や活動の意思決定の場やリーダークラス（管理職）に女性がいます	
職場における男女平等参画	7. 女性が自らの能力を、ありのままに発揮することができる	
	8. 一度退職しても、男女の区別がなく、再就職にチャレンジできる	
	9. 年齢に関係なく能力によって雇用される	
	10. 個人の能力や資質によって役職やポストが与えられる	
	11. 学歴偏重社会が是正されている	
	12. 年齢や性別に関係なく、個々の能力や条件に応じて働くことができる	
	13. 女性の努力や成果が正当に評価される仕組みができています	
あらゆる分野における男女共同参画の推進と評価	14. 一人の人間として、個々の男性女性の能力や意思が尊重される	
	15. 表面的な男女平等ではなく、潜在的に埋もれている課題に対して取り組みがされている	
	16. 政治への男女参画がある	
	17. 政策決定現場に女性が積極的に登用されている	
男性・女性ともに共同参画	18. 名目と実働が合致した形で、男性も女性も地域活動に参加している	
上記以外に、「個人の能力が活かされるまち」を実現するために、特に重要だと思う項目がありましたら、具体的に記入してください。また、お書き頂いた項目も含めて、このページ全体で最も重要だと思う項目として5番目までに入る場合、右側の欄に 印をつけてください。		
追加すべき生活課題		

めざす姿・方向性

キーワード『自立』

～市民一人一人が自立し、活動をしているまち～

「市民一人一人が自立し、活動をしているまち」を実現するために、重要あるいは重点的に取り組んだ方がいいと思われる項目（生活課題）を5つ選んで、右側の欄に をつけてください。

分野	生活課題	5つ選んで
教育・広報	1. 子どもが小さいときから、自分の身の回りのことができるように教えている	
	2. 世代間で、男女共同参画に対する見方や考え方が平準化している	
家庭における男女共同参画	3. 男性も、女性も、基本的な生きる力を身につけている	
	4. 子育てをしながら社会とのかかわりを持っていくことができる	
	5. 男性が家庭の中の仕事に協力している	
	6. 仕事も家庭も遊びも、夫婦が協力して成り立たせている	
	7. 家庭内において、女性の社会進出に対する意識改革が進んでいる	
地域における男女共同参画	8. 自発的に自分たちのことは自分たちでやろうとする市民の動きがある	
	9. 地域の中の住民でやれることはやろうという雰囲気や流れが作り出されている	
職場における男女平等参画	10. 「女だから」「男だから」と必要以上に肩肘を張って頑張っていない	
	11. 男女が対等な関係で考えや意見を伝え合うことができる	
あらゆる分野における男女共同参画の推進と評価	12. 世帯単位を主とした戸籍制度において、男女による不利益が発生していない	
健康支援	13. 女性自身が自らのライフプランを描き、自立に向けての努力をしている	
上記以外に、「市民一人一人が自立し、活動をしているまち」を実現するために、特に重要だと思う項目がありましたら、具体的に記入してください。また、お書き頂いた項目も含めて、このページ全体で最も重要だと思う項目として5番目までに入る場合、右側の欄に 印をつけてください。		
活課題	追加	

めざす姿・方向性 キーワード 『尊重』

～男性と女性がお互いに尊重し、協働しているまち～

「男性と女性がお互いに尊重し、協働しているまち」を実現するために、重要あるいは重点的に取り組んだ方がいいと思われる項目（生活課題）を5つ選んで、右側の欄に をつけてください。

分野	生活課題	5つ選んで
教育・広報	1. 法制度や言葉といった表面的に見えるものに加え、人の心や意識にも、男女平等が浸透している	
	2. 人として、個々の「ちがい」が尊重されている	
	3. 命を大切にするような人間形成ができています	
家庭における男女共同参画	4. 親が、子どもの自発性や自立を尊重している	
	5. 家庭の中の「仕事」として認識されにくい労働が、適切認識され、評価されている	
	6. 子どもを虐待していない	
	7. 金銭収入だけでなく、家事労働の対価や必要性が、家庭内で正しく理解されている	
地域における男女共同参画	8. 地域に安心して相談できる場がある	
あらゆる分野における男女共同参画の推進と評価	9. 自分を守る「平等」だけでなく、相手を想った「平等」の実現が考えられている	
	10. 男女が謙虚にお互いを尊重して生きていくことができています	
	11. 生まれてから死ぬまで安心して暮らすことができる	
女性の健康支援	12. 介護を受けるときに、「恥ずかしい」という意識を、持たなくてよい	
	13. 配偶者や恋愛相手からの身体や言葉あるいは無視といった形での精神的苦痛を受けていない	
	14. 出産など女性にしか担えない役割が、尊重されている	
	15. 授かる命や生まれてきた命の尊さを認識し、守り、次世代へその価値が受け継がれている	
	16. 女性への暴力や虐待がない	
	17. 子どもがほしくても出来ない人の存在（や気持ち）が広く認知されている	
	18. DVなど被害者の個人情報を守られている	
上記以外に、「男性と女性がお互いに尊重し、協働しているまち」を実現するために、特に重要だと思う項目がありましたら、具体的に記入してください。また、お書き頂いた項目も含めて、このページ全体で最も重要だと思う項目として5番目までに入る場合、右側の欄に 印をつけてください。		
追加すべき生活課題		

めざす姿・方向性

キーワード『幸せ』

～誰もが人として幸せに生きているまち～

「誰もが人として幸せに生きているまち」を実現するために、重要あるいは重点的に取り組んだ方がいいと思われる項目（生活課題）を5つ選んで、右側の欄に をつけてください。

分野	生活課題	5つ選んで
広報・教育	1. 男女としてではなく、人として、自然に支えあえる関係ができています	
	2. 子どもが、育ててくれた(ている)ことに対して、感謝の意識を持っている	
男女共同参画 家庭における	3. 若い人が、子育てに対して負担感ばかりを持たず、希望や楽しみといったよい印象を抱いている	
	4. 精神的に穏やかに育児をすることができている	
	5. 未婚者層が、家庭を作る意欲を持っている	
参画 地域における 男女共同	6. 定年を迎えても、ひとりぼっちのような感覚を抱いていない	
平等参画 職場における 男女	7. 「女だから」「男だから」と必要以上に肩肘を張って頑張っていない	
	8. 男女共同参画という考え方や必要性が、個人にも事業体にも分かりやすく理解されている	
進捗と評価 あらゆる分野 男女共同参画 の推進	9. あらゆる分野で男女の区別なくいきいきと活躍している	
	10. 生まれてから死ぬまで安心して暮らすことができる	
	11. 若者がいきいきと、自らの未来を描いている	
	12. 世代を超えて、男女という意識すら特にもつことなく普通に行動できる	
	13. 女性も男性も人生を幸せに生きていくことができていると感じている	
健康支援 女性の健康	14. 未婚者・非婚者・シングルマザーないしファザーに対する偏見がない	
	15. 子どもができ、親になれて子育てができることを幸せに思うことができる	
	16. 寝たきりの人がいない	
上記以外に、「誰もが人として幸せに生きているまち」を実現するために、特に重要だと思う項目がありましたら、具体的に記入してください。また、お書き頂いた項目も含めて、このページ全体で最も重要だと思う項目として5番目までに入る場合、右側の欄に 印をつけてください。		
追加すべき生活課題		

めざす姿・方向性 キーワード 『連携』

～男性、女性という役割分担がなく、

男性と女性があらゆる分野で連携をしているまち～

「男性、女性という役割分担がなく、男性と女性があらゆる分野で連携をしているまち」を実現するために、重要あるいは重点的に取り組んだ方がいいと思われる項目（生活課題）を5つ選んで、右側の欄に をつけてください。

分野	生活課題	5つ選んで
教育・広報	1. 教育の現場と現実社会とのつながりが強化されている	
	2. 親が共働きでも、子どもが犠牲にならず、その成長を見守る仕組みが社会全体としてできている	
家庭における男女共同参画	3. 男性が家庭の中の仕事に協力している	
	4. 仕事も家庭も遊びも、夫婦が協力して成り立たせている	
	5. 男性と女性の役割分担の固定観念がなくなる	
地域における男女共同参画	6. 男女ともに、仕事・子育て・地域活動のバランスをとることができている	
	7. 街づくり活動の中で、若い世代が活気にあふれて関わっている	
	8. 地縁団体のメンバーに男女や世代の偏りがない	
	9. 地域で子育てを支えあうための土台としての信頼関係が、地域で築かれている	
	10. 地域の中の住民でやれることはやろうという雰囲気や流れが作り出されている	
	11. 地域間のネットワークがあり、横の協力関係が築かれている	
	12. 男女にかかわらず、お互い様の意識で隣近所の付き合いができている	
職場における男女平等参画	13. 仕事と子育てとの両立を社会で支えている	
	14. 保育サービスが柔軟かつ多様(多機能)にあり、子どもを預けやすい	
上記以外に、「男性、女性という役割分担がなく、男性と女性があらゆる分野で連携をしているまち」を実現するために、特に重要だと思う項目がありましたら、具体的に記入してください。また、お書き頂いた項目も含めて、このページ全体で最も重要だと思う項目として5番目までに入る場合、右側の欄に 印をつけてください。		
追加すべき生活課題		

めざす姿・方向性

キーワード『平等』

～男女平等をあたりまえに推進しているまち～

「男女平等をあたりまえに推進しているまち」を実現するために、重要あるいは重点的に取り組んだ方がいいと思われる項目(生活課題)を5つ選んで、右側の欄に をつけてください。

分野	生活課題	5つ選んで
広報・教育	1. まず人としてどうあるべきかという道徳が学校で教えられている	
	2. 学校教育の現場における指導者が、男女共同参画社会への意識を持っている	
	3. 男女が、人として自然に対等な関係を築いている	
家庭における男女共同参画	4. どんな家庭環境にいても、子どもが自らの希望通りに生きていくことができる	
地域における男女共同参画	5. 地域において、伝統的な性別役割分担が解消されている	
	6. 民生委員のジェンダーバランスが適切になっている	
職場における男女平等参画	7. 職場で、男女の役割が固定化されていない	
	8. 会社の規模にかかわらず、男女共同参画社会に向けての取り組みがされている	
	9. 同じ職場の中で、女性と男性が協力・尊重し合いながら、仕事をしている	
男性と女性に共通の参画	10. 男性が家庭や地域にかかわっている	
あらゆる分野における男女共同参画の推進と評価	11. (生物的ではなく)社会的な男女の役割意識に対する固定概念がなくなっている	
	12. 自分を守る「平等」だけでなく、相手を思った「平等」の実現が考えられている	
	13. 制度や仕組みによる解決だけでなく、社会的差別に対する根本的な人の意識が変わる	
	14. 性差に基づく主従・優劣といった見方や偏見がなくなっている	
	15. 男女それぞれの視点が社会の仕組みに取り入れられている	
	16. 男女共同参画社会実現に向けての具現化の仕組みがある	
	17. 世帯単位を主とした戸籍制度において、男女による不利益が発生していない	
女性健康支援	18. 介護を引き受ける立場や負担に、性別による格差がない	
上記以外に、「男女平等をあたりまえに推進しているまち」を実現するために、特に重要だと思う項目がありましたら、具体的に記入してください。また、お書き頂いた項目も含めて、このページ全体で最も重要だと思う項目として5番目までに入る場合、右側の欄に 印をつけてください。		
追加すべき生活課題		

【問2】「めざす姿・方向性(キーワード)」の優先度

「豊明市における男女共同参画社会の実現」につながり得る10の「キーワード」を挙げています。このなかから、あなたが特に、めざすべきまちの方向性として、優先すべきあるいは重視したいと思うものを5つ選んで、表の右の欄に をつけてください

キーワード	キーワードの説明	5つ 選んで
1 支えあい	男性、女性ということではなく、地域でお年寄りも若者もお互いに支えあっているまち	<input type="checkbox"/>
2 選択	男性、女性という社会的性差にとらわれず、選択ができるまち	<input type="checkbox"/>
3 自由	男性、女性という社会的性差がなく、自由に生きることができるまち	<input type="checkbox"/>
4 育む	未来からの使者であるこどもを育むまち	<input type="checkbox"/>
5 能力	個人の能力が活かされるまち	<input type="checkbox"/>
6 自立	市民一人一人が自立し、活動をしているまち	<input type="checkbox"/>
7 尊重	男性と女性がお互いに尊重し、協働しているまち	<input type="checkbox"/>
8 幸せ	誰もが人として幸せに生きているまち	<input type="checkbox"/>
9 連携	男性、女性という役割分担がなく、男性と女性があらゆる分野で連携をしているまち	<input type="checkbox"/>
10 平等	男女平等をあたりまえに推進しているまち	<input type="checkbox"/>
上記以外に、追記すべき「めざす姿・方向性(キーワード)」として適切だと思ふものを、以下にご記入下さい。		
追加すべき キーワード		

追加いただいたキーワードが、このページ全体で特に優先すべきだと思うキーワードとして5番目までに入る場合、右側の欄に 印をつけてください。

【問3】それぞれの項目(生活課題)の重要度

「豊明市における男女共同参画社会」の実現に向け、以下のそれぞれの項目(生活課題)はどの程度重要だと思いますか。それぞれの項目について、5段階で重要度を答えてください。

分野	生活課題	5	4	3	2	1
		重要である	やや重要である	どちらでもない	あまりではない	重要ではない
教育・広報	1 以前から豊明の住む人と、新しく住み始めた人との線引きがなくなる	5	4	3	2	1
	2 勉強ばかりではなく、子どもの得意なところや長所を伸ばせられるよう、子育てがされている	5	4	3	2	1
	3 子どもが差別をしない・されない環境の中で育っている	5	4	3	2	1
	4 親だけでなく、地域も学校も子どもを育てる意識を持っている	5	4	3	2	1
	5 子どもが小さいときから、自分の身の回りのことができるように教えている	5	4	3	2	1
	6 教育の現場で、男女の役割を固定化させてしまう発想がなくなっている	5	4	3	2	1
	7 まず人としてどうあるべきかという道徳が学校で教えられている	5	4	3	2	1
	8 男女としてではなく、人として、自然に支えあえる関係ができている	5	4	3	2	1
	9 地域活動やPTA活動において、役割が性別によって固定化されていない	5	4	3	2	1
	10 世代間で、男女共同参画に対する見方や考え方が平準化している	5	4	3	2	1
	11 法制度や言葉といった表面的に見えるものに加え、人の心や意識にも、男女平等が浸透している	5	4	3	2	1
	12 人として、個々の「ちがい」が尊重されている	5	4	3	2	1
	13 命を大切にするような人間形成ができています	5	4	3	2	1
	14 子どもが、育ててくれた(ている)ことに対して、感謝の意識を持っている	5	4	3	2	1
	15 教育の現場と現実社会とのつながりが強化されている	5	4	3	2	1
	16 親が共働きでも、子どもが犠牲にならず、その成長を見守る仕組みが社会全体としてできている	5	4	3	2	1
	17 学校教育の現場における指導者が、男女共同参画社会への意識を持っている	5	4	3	2	1
	18 男女が、人として自然に対等な関係を築いている	5	4	3	2	1

分野	生活課題	5	4	3	2	1
		重要である	やや重要である	いどちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
家庭における男女共同参画	19 子育てで最もお金がかかるときに、支えられる仕組みがある	5	4	3	2	1
	20 どんな家庭環境にいても、子どもが自らの希望通りに生きていくことができる	5	4	3	2	1
	21 子どもが、いきいきと働く母親の姿を見ることができる	5	4	3	2	1
	22 人としての適性によって、家庭内の分担がされている	5	4	3	2	1
	23 子どもの頃から、男女に関係なく平等に、人としての多様性を認める雰囲気が醸成されている	5	4	3	2	1
	24 家庭内の子育て・子育ての環境がきちんと作られている	5	4	3	2	1
	25 親が、子どもの自発性や自立を尊重している	5	4	3	2	1
	26 男性も、女性も、基本的な生きる力を身につけている	5	4	3	2	1
	27 子育てをしながら社会とのかかわりを持っていくことができる	5	4	3	2	1
	28 男性が家庭の中の仕事に協力している	5	4	3	2	1
	29 仕事も家庭も遊びも、夫婦が協力して成り立たせている	5	4	3	2	1
	30 家庭内において、女性の社会進出に対する意識改革が進んでいる	5	4	3	2	1
	31 家庭の中の「仕事」として認識されにくい労働が、適切に認識され、評価されている	5	4	3	2	1
	32 子どもを虐待していない	5	4	3	2	1
	33 金銭収入だけでなく、家事労働の対価や必要性が、家庭内で正しく理解されている	5	4	3	2	1
	34 若い人が、子育てに対して負担感ばかりを持たず、希望や楽しみといったよい印象を抱いている	5	4	3	2	1
	35 精神的に穏やかに育児をすることができている	5	4	3	2	1
36 未婚者層が、家庭を作る意欲を持っている	5	4	3	2	1	
37 男性と女性の役割分担の固定観念がなくなる	5	4	3	2	1	
地域における男女共同参画	38 男女ともに、仕事・子育て・地域活動のバランスをとることができている	5	4	3	2	1
	39 地域の伝統を男性・女性が互いに支えあいながら守っている	5	4	3	2	1
	40 街づくり活動の中で、若い世代が活気にあふれて関わっている	5	4	3	2	1
	41 地縁団体のメンバーに男女や世代の偏りがない	5	4	3	2	1
	42 災害時に女性が守られるような対策がとられている	5	4	3	2	1

分野	生活課題	5	4	3	2	1
		重要である	やや重要である	いどちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
地域における男女共同参画	43 地域において、伝統的な性別役割分担が解消されている	5	4	3	2	1
	44 子どもが育ち学ぶ過程で、世代を超えた地域の交流がある	5	4	3	2	1
	45 男性・女性が、それぞれの力を発揮して防災に取り組んでいる	5	4	3	2	1
	46 孤立感を抱くことなく、健康なときも、病気のときも、地域で子育てが支えあわれている	5	4	3	2	1
	47 男女平等意識を持った人が、まちづくりのリーダーとなっている	5	4	3	2	1
	48 地域で子育てを支えあうための土台としての信頼関係が、地域で築かれている	5	4	3	2	1
	49 定年を迎えても、ひとりぼっちのような感覚を抱いていない	5	4	3	2	1
	50 子育てが社会の責任であることが社会全体で認識されている	5	4	3	2	1
	51 地域で、顔見知りの人が、子どもの日常を見守ってくれる	5	4	3	2	1
	52 組織や活動の意思決定の場やリーダークラス(管理職)に女性がいる	5	4	3	2	1
	53 自発的に自分たちのことは自分たちでやろうとする市民の動きがある	5	4	3	2	1
	54 地域の中の住民でやれることはやろうという雰囲気や流れが作り出されている	5	4	3	2	1
	55 地域間のネットワークがあり、横の協力関係が築かれている	5	4	3	2	1
	56 男女にかかわらず、お互い様の意識で隣近所の付き合いができています	5	4	3	2	1
57 民生委員のジェンダーバランスが適切になっている	5	4	3	2	1	
58 地域に安心して相談できる場がある	5	4	3	2	1	
職場における男女平等参画	59 女性が自らの能力をありのままに発揮することができる	5	4	3	2	1
	60 好きな職業を、誰もが選ぶことができる	5	4	3	2	1
	61 子どもの成長過程に合わせて働き方を選択できる	5	4	3	2	1
	62 就労形態や時間を補完しあうことにより、柔軟に働くことができる	5	4	3	2	1
	63 一度退職しても、男女の区別がなく、再就職にチャレンジできる	5	4	3	2	1
	64 子どもの年齢に関わらず、子育てをしながら、不安なく仕事が続けられる	5	4	3	2	1
	65 仕事(生活費)を得ることができ、子どもを作ることができる	5	4	3	2	1
	66 休みが取りにくい・帰宅しづらいといった雰囲気が職場にない	5	4	3	2	1

分野	生活課題	5	4	3	2	1
		重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
職場における男女平等参画	67 企業が子育てをする(したい)スタッフにやさしい取り組みをしている	5	4	3	2	1
	68 年齢に関係なく能力になって雇用される	5	4	3	2	1
	69 個人の能力や資質によって役職やポストがあたえられる	5	4	3	2	1
	70 学歴偏重社会が是正されている	5	4	3	2	1
	71 年齢や性別に関係なく、個々の能力や条件に応じて働くことができる	5	4	3	2	1
	72 女性の努力や成果が正当に評価される仕組みができています	5	4	3	2	1
	73 「女だから」「男だから」と必要以上に肩肘を張って頑張っていない	5	4	3	2	1
	74 男女が対等な関係で考えや意見を伝え合うことができる	5	4	3	2	1
	75 男女共同参画という考え方や必要性が、個人にも事業体にも分かりやすく理解されている	5	4	3	2	1
	76 仕事と子育てとの両立を社会で支えている	5	4	3	2	1
	77 保育サービスが柔軟かつ多様(多機能)にあり、子どもを預けやすい	5	4	3	2	1
	78 職場で、男女の役割が固定化されていない	5	4	3	2	1
	79 会社の規模にかかわらず、男女共同参画社会に向けての取り組みがされている	5	4	3	2	1
	80 同じ職場の中で、女性と男性が協力・尊重し合いながら、仕事をしている	5	4	3	2	1
女性の健康支援	81 既婚・未婚、子どもの有無等に関係なく、個々のキャリアを選択することができる	5	4	3	2	1
	82 介護を受けるときに、「恥ずかしい」という意識を、持たなくてよい	5	4	3	2	1
	83 配偶者や恋愛相手からの身体や言葉あるいは無視といった形での精神的苦痛を受けていない	5	4	3	2	1
	84 出産経験の有無が、人としての何らかの評価や判断に結びついていない	5	4	3	2	1
	85 介護の負担を女性一人が抱え込まないですんでいる	5	4	3	2	1
	86 女性自身が自らのライフプランを描き、自立に向けての努力をしている	5	4	3	2	1

分野	生活課題	5	4	3	2	1
		重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
女性の健康支援	87 出産など女性にしか担えない役割が、尊重されている	5	4	3	2	1
	88 授かる命や生まれてきた命の尊さを認識し、守り、次世代へその価値が受け継がれている	5	4	3	2	1
	89 女性への暴力や虐待がない	5	4	3	2	1
	90 子どもがほしくても出来ない人の存在(や気持ち)が広く認知されている	5	4	3	2	1
	91 未婚者・非婚者・シングルマザーないしファザーに対する偏見がない	5	4	3	2	1
	92 子どもができ、親になれて子育てができることを幸せに想うことができる	5	4	3	2	1
	93 寝たきりの人がいない	5	4	3	2	1
	94 介護を引き受ける立場や負担に、性別による格差がない	5	4	3	2	1
	95 妊娠や出産など、生涯を通じて性と生殖に関して、個人が責任をもって自由に選択することができる	5	4	3	2	1
	96 DVなど被害者の個人情報を守られている	5	4	3	2	1
男性にとつての男女共同参画	97 名目と実働が合致した形で、男性も女性も地域活動に参加している	5	4	3	2	1
	98 団塊の世代が退職後、地域においてスムーズに社会参加できる	5	4	3	2	1
	99 男性が家庭や地域にかかわっている	5	4	3	2	1
	100 父親が、積極的に子育てに係っている	5	4	3	2	1
	101 男性が育児休暇を取得しても、不利益を被らない	5	4	3	2	1
あらゆる分野における男女共同参画の推進と評価	102 男性、女性ともに自由にやりたいことを選択できる	5	4	3	2	1
	103 選べたいことが選べる世の中になっている	5	4	3	2	1
	104 誰もがスポーツを楽しむことができる	5	4	3	2	1
	105 (生物的ではなく)社会的な男女の役割意識に対する固定概念がなくなっている	5	4	3	2	1
	106 社会的な制約を受けることなく、自らの責任のもと選択できる	5	4	3	2	1
	107 あらゆる分野で男女の区別なくいきいきと活躍している	5	4	3	2	1
	108 一人の人間として、個々の男性女性の能力や意思が尊重される	5	4	3	2	1
	109 表面的な男女平等ではなく、潜在的に埋もれている課題に対して取り組みがされている	5	4	3	2	1
	110 政治への男女参画がある	5	4	3	2	1

分野	生活課題	5	4	3	2	1
		重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
あらゆる分野における 男女共同参画の推進	111 自分を守る「平等」だけでなく、相手を想った「平等」の実現が考えられている	5	4	3	2	1
	112 男女が謙虚にお互いを尊重して生きていくことができている	5	4	3	2	1
	113 生まれてから死ぬまで安心して暮らすことができる	5	4	3	2	1
	114 若者がいきいきと、自らの未来を描いている	5	4	3	2	1
	115 世代を超えて、男女という意識すら特にもつことなく普通に行動できる	5	4	3	2	1
	116 女性も男性も人生を幸せに生きていくことが出来ていると感じている	5	4	3	2	1
	117 制度や仕組みによる解決だけでなく、社会的差別に対する根本的な人の意識が変わる	5	4	3	2	1
	118 性差に基づく主従・優劣といった見方や偏見がなくなっている	5	4	3	2	1
	119 男女それぞれの視点が社会の仕組みに取り入れられている	5	4	3	2	1
	120 世帯単位を主とした戸籍制度において、男女による不利益が発生していない	5	4	3	2	1
	121 男女共同参画社会実現に向けての具現化の仕組みがある	5	4	3	2	1
	122 政策決定現場に女性が積極的に登用されている	5	4	3	2	1

「とよあけ男女共同参画プラン」策定のためのアンケート調査
報告書

平成 18 年 10 月

発行者 豊明市

調査機関 特定非営利活動法人 市民フォーラム 21・NPO センター